

情報四季



令和2年 春期号

通巻143号

目次

- ◎灌水同時施肥によるブドウの超密植栽培 岡山大学名誉教授 久保田尚浩 2
- ◎愛媛の新しい良食味米品種「ひめの凜」の特性と栽培方法について
..... 愛媛県農林水産研究所 農業研究部栽培開発室 主任研究員 秋山 勉 8
- ◎「スミロディー乳剤」の適用拡大について
..... 住友化学株式会社 アグロ事業部 営業部 大阪営業所 上原 宏之 12
- ◎IMCCD カンボジア便り NPO法人 国際地雷処理・地域復興支援の会 14
- ◎四〜六月の主要病害虫防除暦 村上産業株式会社 阿部龍助 18

灌水同時施肥によるブドウの超密植栽培

岡山大学名誉教授 久保田 尚浩

はじめに

岡山県は、全国有数のブドウ産地で、しかも、マスカット・オブ・アレキサンドリア、や、ピオーネ、といった高級な品種の栽培が多い。しかし、生産者の高齢化や後継者不足により、栽培面積は減少の一途をたどっている。このため、岡山県のブドウ産産を維持、発展させるには、新規就農者の促進、既存園における計画的な改植、有望品種への更新などが必須である。ところで、岡山県のブドウ栽培の特徴は、簡易被覆での短梢剪定によるWH字型あるいはH字型の平行整枝が一般的なことである。この場合、成園になるには5〜6年を要し、初期投資の回収に時間がかかるため、新植や改植が進みにくい。また、近年は販売単価の低迷もあって、ブドウ農家の所得の向上と経営の安定を図ることが喫緊の課題となっている。このような中、岡山県農業総合センター農業試験場（現在、農業研究所）

では、小野俊朗所長が中心になってブドウの挿し木苗を10a当たり800本以上定植し、野菜や花卉の栽培で行われている灌水同時施肥システムの導入により、定植2年目から高品質な果実を多収できる超密植栽培の開発に取り組み、筆者も共同研究者としてその一端を担った。ここでは、2008年の「園芸学研究」に発表された同氏らの論文を基に、その概略を紹介する。

1. 超密植栽培システムと灌水施肥管理の概要

(1) システムの概要

超密植栽培システムの概要と栽培状況をそれぞれ図1と図2に示した。すなわち、ネタフィルム社（イスラエル）の圧力補正機能付き点滴灌水チューブを樹冠下の主幹の横に直線で1本設置し、その上を幅1.5mの不透水性マルチシート（東洋紡）を樹の植列部分で端を合わせるように敷設して（図1）、発芽期から



図2 灌水同時施肥による超密植栽培の状況(小野ら、2008)

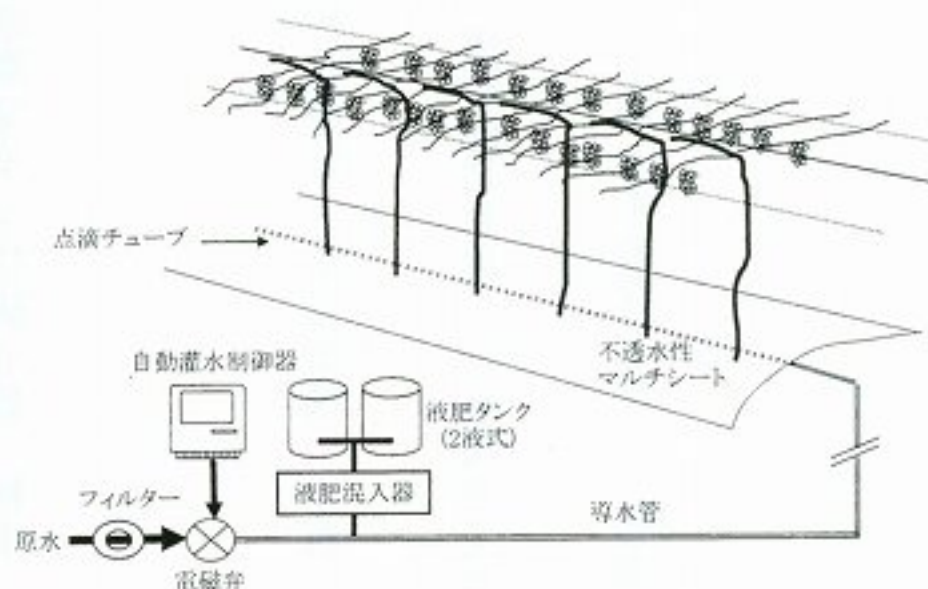


図1 灌水同時施肥によるブドウの超密植栽培システム(小野ら、2008)



図3 アーチ型メッシュにポリフィルムを掛けた超密植ブドウ園(久保田ら,2011)

収穫期まで全面被覆した。システムとしては、カンキツの周年マルチ点滴灌水同時施肥と同様、園地に隣接する水源から導水管で水を引く方法である。水に混入した藻類やゴミを取り除くため、導水管の途中にフィルターを取り付け、自動灌水制御装置と電磁弁により、ブドウの生育ステージに応じてプログラムを設定し、灌水量を調節した(図1)。水圧で作動する液肥混入器と液肥タンク(2液式)を用いることで、容易に肥料濃度を

調節することが可能である。自動灌水制御装置(図2-①)は、手動での操作も可能なため樹体や天候の状態をみながら適宜に灌水同時施肥を調節することができ、本方式では、根域を制限せず、高さ30cm、幅80cmの畝を3m間隔で設置した。畝の設置に際しては、長さ1m当たり約34Lのピートモスを施用して土壌と混和した。4月下旬に、約2か月間養成した挿し木苗を点滴チューブに沿わせて畝の中央に株間40、60または80cmで定植し(図2-②)、1年間育苗した後(図2-③)、単幹一文字整枝の樹形を完成させた。定植2年目以降は短梢剪定により着果させた(図2-④)。棚上には、岡山のブドウ栽培で一般的な鉄鋼線で作った市販のメッシュを直径1・2m程度のアーチ型にして設置し、ポリフィルムを掛けて短梢剪定樹の結果部位を雨よけする簡易被覆とした(図3)。

(2) 灌水施肥管理の概要

本システムでは、予備実験により1回の灌水量を一定(384ml/樹)とし、生育ステージに応じて灌水日を週1日から毎日、また1日当たりの灌水回数を午前7時から午前11時までの間に2時間間

隔で1〜3回の範囲で調節した。施肥にはハイファ社(イスラエル)の肥料を2液式で4種類「P7号(N:P₂O₅:K₂O || 17:17:17)、P5号(N:P₂O₅:K₂O || 11:8:34)、硫酸マグネシウム(MgO || 16)、硝酸カルシウム(N:CaO || 11:23)」を用いた。定植1年目には表1に示した基準で灌水施肥管理を行った。定植2年目は表2に示した基準に準じて管理した。ただし、定植1年目には満開〜満開4週後までの施肥量を同じにしたが、2年目と3年目には表2に示したとおり、満開2週後〜果粒軟化までの施肥量を減じて管理した。

2. 栽植間隔と新梢密度が収量ならびに果実品質に及ぼす影響

(1) 栽植間隔の影響

栽植間隔を40、60または80cmで定植し、果実重、果皮色(カラーチャート値)、糖含量および滴定酸含量の変化をみるとともに(データ省略)、収穫時の収量と果実品質を調査した。表3に示すように、10a当たり収量は40cm区が3,795kg、60cm区が4,260kg、80cm区が4,350kgと、栽植間隔が広いほど多かった。果房重も同様で、80cm区が580gで最も優

表1 超密植栽培における定植1年目の灌水施肥基準(小野ら,2008)

	生育ステージ ^z				
	5月上旬~	6月中旬~	8月上旬~	9月中旬~	10月中旬~
	6月上旬	7月上旬	9月上旬	10月上旬	10月下旬
期間日数(日)	41	51	41	30	21
灌水回数(回・期間 ⁻¹) ^y	155	201	155	140	70
灌水量(L・10a ⁻¹ ・期間 ⁻¹)	10,789	45,623	38,446	9,143	1,829
窒素量(g・10a ⁻¹ ・期間 ⁻¹)	464	2,692	1,076	384	0

z 灌水施肥基準の切り替え時期

y 灌水回数は天候および樹体状況により調節

表2 超密植栽培における定植2年目以降の灌水施肥基準(小野ら,2008)

	生育ステージ ^z					
	溢泌~発芽	発芽~満開	満開~	満開2週後~	果粒軟化~	収穫~
			満開2週後	果粒軟化	収穫	落葉
期間日数(日)	7	42	14	28	56	56
灌水回数(回・期間 ⁻¹) ^y	2	38	42	84	112	80
灌水量(L・10a ⁻¹ ・期間 ⁻¹)	640	12,160	13,440	26,880	35,840	25,600
窒素量(g・10a ⁻¹ ・期間 ⁻¹)	29	605	739	296	771	1,075

z 灌水施肥基準の切り替え時期

y 灌水回数は天候および樹体状況により調節

表3 超密植栽培‘ピオーネ’の収量と果実品質に及ぼす植栽間隔の影響(小野ら,2008)

栽植間隔	収量(kg/10a)	果房重(g)	果実重(g)	果皮色(C.C.) ^z	糖度(Brix)	滴定酸含量(g/100ml) ^y
40cm	3,795	506b ^x	14.3b	8.8	16.8b	0.22c
60cm	4,260	568a	16.9a	8.7	17.2a	0.25b
80cm	4,350	580a	18.0a	9	16.4c	0.27a

z 農林水産省果樹試験場監修カラーチャート示度

y 酒石酸当量

x 異なる文字間にはScheffeの多重検定により5%水準で有意差あり

れ、次いで60cm区、40cm区の順であった。果実重も同様の結果であった。果皮色には栽植間隔の違いによる差がなかったが、糖含量は60cm区で最も優れ、次いで40cm区、80cm区の順であった。滴定酸含量は間隔が広いほど多かった。

(2) 新梢密度の影響

新梢密度を3段階(1m当たり10本、15本または20本)に調節したところ、10a当たり収量は10本区が2,631kgで最も多く、次いで15本区の2,494kg、20本区の2,282kgと、新梢密度が低いほど多かった(表4)。果房重も収量と同様の結果で10本区で最も優れた。逆に、果皮色は20本区で最も優れ、10本区と15本区では差がなかった。果実重、糖度および果汁pHには処理区間に差がなかった。

3. 定植後3か年の収量と果実品質

2003年5月に、岡山県農業総合センター農業試験場に列間3m、株間40cmで定植した簡易被覆の‘ピオーネ’を供試した。ジベレリン処理による無核果栽培とし、新梢を開花期に基部から約90cmの位置で切り返した後、副梢はすべて2

表4 超密植栽培における新梢密度の違いが‘ピオーネ’の収量と果実品質に及ぼす影響
(小野ら,2008)

新梢密度 ^z	収量(kg・10a ⁻¹)	果房重(g)	果実重(g)	果皮色(C.C.) ^y	糖度(Brix)	果汁pH
10本・m ⁻¹	2,631	526a ^x	13.9a	9.4b	19.3a	3.6a
15本・m ⁻¹	2,494	499ab	13.6a	9.5b	19.4a	3.5a
20本・m ⁻¹	2,282	456b	12.8a	10.1a	19.1a	3.6a

z 着果量は15果房・m⁻¹とした

y 農林水産省果樹試験場監修カラーチャート示度

x 異なる文字間にはTukey多重検定により、5%水準で有意差あり

表5 超密植栽培‘ピオーネ’の定植後3か年の収量と果実品質(小野ら,2008)

	収量(kg・10a ⁻¹)	果房重(g)	果実重(g)	果皮色(C.C.) ^z	糖度(Brix)
定植2年目	1,856	586±20 ^y	17.1±0.5	6.3±0.1	18.2±0.1
定植3年目	2,682	536±10	15.2±0.3	9.2±0.1	17.6±0.1
定植4年目	2,494	499±15	13.6±0.4	9.5±0.1	19.4±0.2

z 農林水産省果樹試験場監修カラーチャート示度

y 平均値±標準誤差(n=10)

く3節で摘心した。1新梢当たり1果房を基準とし、10a当たり新梢数が目標の5,000本を確保できなかった2004年(定植2年目)を除き、2005年と2006年は10a当たりの新梢数を5,000本(15本・m¹)、果房数を5,000房(15房・m¹)とした。2004年には果粒軟化後8週目、2005年と2006年には7週目に10果房を収穫し、果房重、果実重、果皮色(カラーチャート)、および糖度(屈折計示度)を測定した。また、3か年も調査した果房重の平均とあらかじめ計測した着房数から10a当たりの収量を算出した。

定植後3か年の収量と果実品質を表5に示した。10a当たり収量は、定植2年目が1,856kg、3年目が2,682kg、4年目が2,494kgであった。初結果の定植2年目には、岡山県において秀品として格付けされる全農の出荷基準に比べて果皮色が劣ったが、果実重と糖度は基準をクリアしていた。定植4年目には果実重がやや劣ったものの、定植3年目、4年目ともに、多くの項目で優れ、後述する10a当たり12〜17本を定植する岡山県における慣行栽培‘ピオーネ’の生産目標をほぼクリアするものであった。

4. 栽植方式の影響

先に述べたように、岡山県における‘ピオーネ’栽培の栽植様式はWH型の平行整枝が基本で、園地の形状や土壌条件に応じて、主枝の長さや本数を調節しているが、この場合の10a当たり栽植本数は主枝間隔2mでは11〜16本、1・8mでは12〜17本である。そこで、この慣行栽培と比較して超密植栽培の収量や果実品質にどのような差異があるかを調査した。すなわち、岡山県農業総合センターの果樹園に慣行方式で栽植されているWH型の成木‘ピオーネ’と、栽植距離40cmで10a当たり800本植えの超密植樹について、果実成長、果皮のアントシアニン含量、および果実の糖含量と滴定

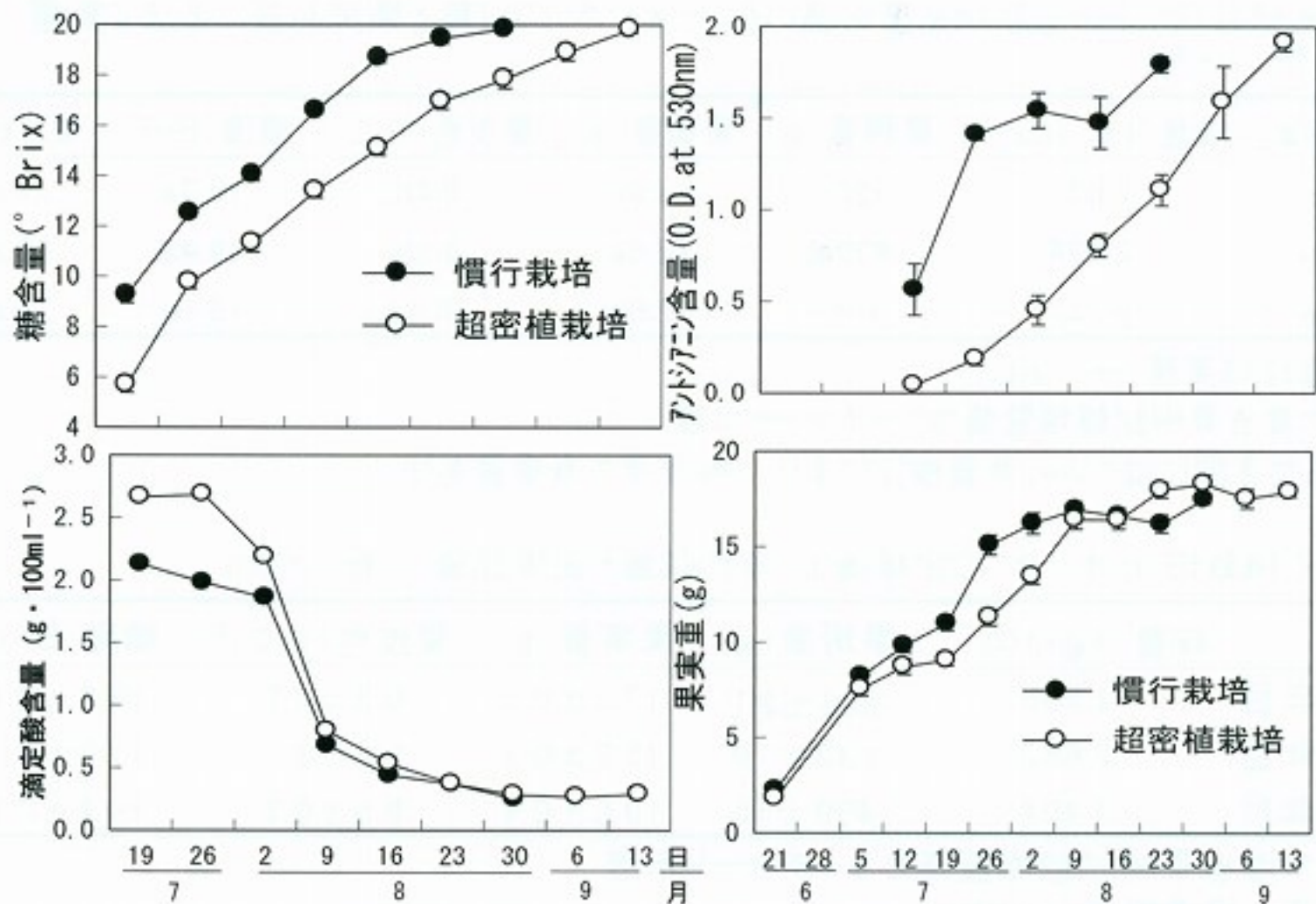


図4 'ピオーネ'の果実品質に及ぼす超密植栽培の影響(小野ら,2011)

表6 'ピオーネ'の収量と果実品質に及ぼす超密植栽培の影響(小野ら,2011)

栽植方法 ^z	収量(kg/10a)	果房重(g)	果実重(g)	果皮色(C.C.)	糖度(Brix)	滴定酸含量(g/100ml) ^y
慣行	1,959	653	17.5	8	19.8	0.25 * ^x
超密植	3,155	631	17.9	8	19.8	0.29

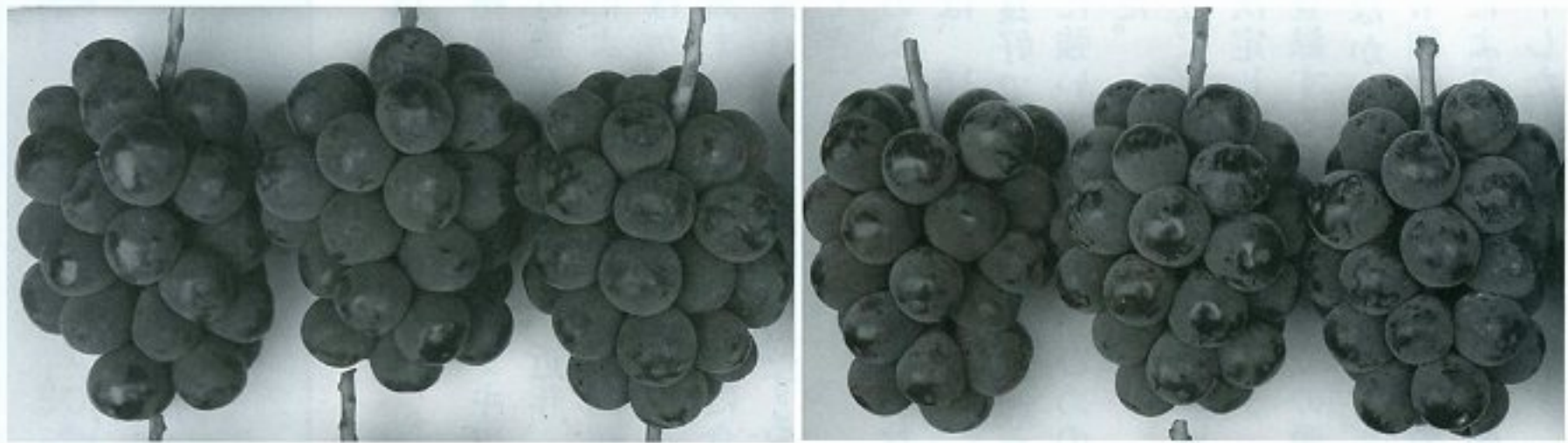
^z 慣行はWH型平行整枝、超密植は40cm間隔で栽植

^y 酒石酸当量

^x * : *t*-検定により5%水準で有意差あり

酸含量の変化を調査するとともに、収穫時には収量と果実品質を比較した。

図4は、成熟開始(果粒軟化開始)から収穫までの果実重、果皮のアントシアニン含量、および果実の糖含量と滴定酸含量の変化を示したものである。果実重には発育期間を通して慣行栽培樹と超密植栽培樹との間に大きな差は認められなかった。果皮のアントシアニン含量は、調査開始時には超密植栽培樹で少なく、その後も同様であったが、収穫時には慣行栽培樹と超密植栽培樹間にはほとんど差がなかった。糖含量は、調査開始日には超密植栽培樹が慣行栽培樹よりも約3%低く、その後も前者で低く推移したが、これは超密植栽培樹の成熟開始が遅かったため、収穫時には両者に差がなかった。これとは逆に、滴定酸含量は調査開始から3週間は超密植栽培樹で多かったが、収穫時には両者に差がなかった。表6は、収穫時の収量と果実品質を示したものである。10a当たり収量は、慣行栽培樹が1,959kgであったのに対し、超密植栽培樹では3,155kgと、超密植栽培樹が慣行栽培樹よりも約1.6倍多かった。果房重、果実重、糖含量、果皮色等には両栽培樹間に有意な差がな



慣行栽培

超密植栽培

図5 'ピオーネ'の果実品質に及ぼす超密植栽培の影響(久保田,2011)

かったが、酸含量は超密植栽培樹で多かった。収穫時の果房を示した図5からも明らかのように、果房の大きさ、果実の大きさ、果皮色等には慣行栽培樹と超密植栽培樹との間にほとんど差がなかった。10 a 当たり12〜17本を定植する岡山県における慣行栽培、'ピオーネ'の生産目標は、収量が10 a 当たり1.5〜1.8 t、果房重が500〜600 g、果実重が15〜18 g、果皮色がカラーチャート値で8以上、糖度が17%以上とされているが、表6の超密植栽培樹の果実品質は多くの項目において慣行栽培樹とほとんど差がなく、また収量は慣行栽培樹の1.6倍であった。しかるに、小野らが開発した灌水同時施肥によるブドウの超密植栽培システムは栽培現場に十分適用可能な技術といえる。

おわりに

ブドウの早期成園化と高品質果実の多収を目的に、灌水同時施肥による超密植栽培システムの有用性を検討した。本システムは、根域を制限することなく、10 a 当たり800本以上の挿し木苗を植え、その樹冠下に不透水性マルチシートを設置し、自動灌水制御装置と液肥混入

器および点滴灌水チューブにより、生育ステージに応じて灌水と施肥を同時に行う方式である。定植2年目には慣行栽培の成園並みの果実生産が可能であった。栽植間隔を40、60および80 cmにしたところ、60 cm区と80 cm区では収量、果房重および果実重が優れたが、80 cm区では糖度が低かった。収量と果実品質に及ぼす新梢密度の影響をみたところ、着果基準を15果房・ m^2 に設定した場合、新梢密度を10〜20本・ m^2 にすることで、果実重、糖度および果皮色の優れた果実の多収生産が可能であった。これらの結果より、本方式での収量と果実品質から、年間の灌水同時施肥基準を策定した。さらに、'ピオーネ'について従来の栽培方式(慣行栽培)と超密植で栽培した場合の収量を比較したところ、慣行栽培における岡山県の生産目標である10 a 当たり収量1.5〜1.8トンに対し、超密植栽培では1.5倍以上であった。また、慣行栽培と超密植栽培の果房重、果実重、糖含量および果皮色にはほとんど差がなかった。以上より、灌水同時施肥によるブドウの超密植栽培は、慣行栽培と同等の高品質な果実を多収できるシステムであることが明らかとなった。

愛媛の新しい良食味米品種

‘ひめの凩’の特性と栽培方法について

愛媛県農林水産研究所 農業研究部栽培開発室 主任研究員 秋山 勉

1. はじめに

愛媛県において米はカンキツ類に次ぐ主要な農産物であるが、近年、登熟期の高温による米の品質低下が問題となっており、消費者の米に対する良食味嗜好の高まりにともない、特に食味の優れた県オリジナル品種に対する需要が高まってきた。

このようななか、愛媛県農林水産研究所では、16年の歳月をかけて、高温登熟性が良好で、食味が優れ、収量が多く、倒伏に強い水稻新品種‘ひめの凩’を育成した。

‘ひめの凩’は、品種名を県民投票により決定したり、ロゴマーク(図1)を商標登録する等、これまでの愛媛県の品種になかった新しい取組みを行っており、令和元年産から、110名の認定栽培者により64ヘクタールで一般栽培がスタートした。



図1 ‘ひめの凩’のロゴマーク

生産された米については「美味しさ基準」によって3つのカテゴリに区分し、本県オリジナルの良食味のブランド米として、令和元年11月から一般販売が開始されて、好評を博したところ。

令和2年産では、183名の認定栽培者が124ヘクタールの栽培を予定しており、今後も生産拡大を図り、愛媛県オリジナルの良食味のブランド米として育てていくこととしている。

今回は、愛媛の新しい良食味米品種‘ひめの凩’の特性と栽培方法について紹介する。

2. ‘ひめの凩’の特性

‘ひめの凩’は、良食味で収量が多い、媛育56号を母とし、良食味で品質が良く倒れにくい、西海245号を父として、平成14年に愛媛県農業試験場(現愛媛県農林水産研究所)で人工交配した組み合わせに由来する後代から、育成され、平成30年9月に品種登録出願を行った(図2)。



図2 ‘ひめの凩’の系譜

表1 ‘ひめの凜’の生育、収量、品質(普通期栽培)

品 種	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	倒伏 0-5	穂数 (本/m ²)	千粒重 (g)	精玄米重 (kg/a)	整粒歩合 (%)	外観品質 1-9	玄米タンパク質 含有率(%)
ひめの凜	8/28	10/12	78	21.1	0	322	24.0	55.6	71.6	3.3	6.5
ヒノヒカリ	8/24	10/8	81	20.0	0	317	22.7	51.9	71.8	4.7	6.4

2007～2017年農水研産の平均。外観品質は1(上上)～9(下下)の9段階評価。

玄米タンパク質含有率は水分15%補正。田植え：6/15頃。

表2 ‘ひめの凜’の目標収量と構成要素、目標とする玄米形質

目標収量 (kg/10a)	稈長 (cm)	穂数 (本/m ²)	有効茎歩合 (%)	平均1穂粒数 (粒)	m ² 当たり粒数 (千粒)
480～540	75～80	336～378	85	70	23.5～26.5
登熟歩合 (%)	玄米千粒重 (g)	玄米蛋白質含有率 (%)	整粒歩合 (%)	検査等級	
85	24	7.0以下	70以上	1等	

ひめの凜は、良食味で高温登熟条件下でも品質の良い中生のうるち品種で、ヒノヒカリと比較した主な特性は次のとおりで、具体的な数字は表1のとおり。

- ①高温登熟性が高く、外観品質が良い
- ②炊飯米は光沢があり、粘りが強く極良食味
- ③草型は偏穂数型に属し、止め葉は立ち、草姿は良好
- ④稈長は、ヒノヒカリより3cm短く、耐倒伏性はやや強い
- ⑤穂数はやや多く、千粒重はやや重く、多収
- ⑥いもち病圃場抵抗性の評価は、葉いもちやや弱で、ヒノヒカリと同程度
- ⑦出穂期、成熟期は、ヒノヒカリより4日程度遅い中生の晩

3. ‘ひめの凜’栽培の目標

愛媛県では、ひめの凜の栽培にあたり、良食味で高品質な、ひめの凜の特性を生かした適正な栽培管理と集荷・販売に努めるため、認定栽培者は「ひめの凜栽培マニュアル」および「ひめの凜美味しさ基準」等を順守することとしている。

「ひめの凜 おいしさ基準」として、栽培基準は①自家採種によらないこと、②原則6月15日までに移植すること、③穂肥診断に基づいた施肥管理を行っていること、④いもち病等の基幹防除を行っていること、品質基準は①検査等級が2等以上、②玄米タンパク質含有率(水分15%)が7.0%以下、③水分が14.0～15.0%、④ふるい目が1.85mm以上、としている。

栽培マニュアルにおいては、目標収量を480～540kg/10aとしており、目標とする収量構成要素、玄米形質は表2のとおりである。

4. 令和元年産の結果をふまえた栽培の留意点

令和元年産の、ひめの凜は、全県的に玄米タンパク質含有率が6.3%と低く食味評価は良好であったものの、収量や玄米の外観品質は目標をやや下回る結果となった。

これは、梅雨明けの遅れで中干しによる茎数管理が徹底できなかったことに加え、登熟期の少雨や土壌乾燥による窒素不足等による品質低下と、登熟期の気温が高く推移したことにより登熟期間が短

なくなったことにより、粒の肥大・充実が抑制されたため収量が低下したものと考えられる。

こうしたことを踏まえた最も重要な栽培のポイントは以下のとおりである。

(1) 栽培に適したほ場の選定

水管理が容易で適期移植が可能なほ場を選定する（必要な時期に用水の確保が可能であること）。生育期間中に十分なかん水ができないと、肥効が低下し、生育、収量へ影響を与える恐れがある。

(2) 適期・適度の中干し実施の徹底

移植後30日頃から、無効分げつを抑制し、過繁茂を避け、穂揃いや籾の充実を促進させるため、中干しを開始する。

強度は、足跡が付く程度（足跡水）まで、大きな割れ目を作るような強い中干しは厳禁。また幼穂形成期前（出穂25日前）までには必ず中干しを終了する。中干し開始時期が遅れた場合は、無理に干さずに飽水管理を行う。

(3) 田面を乾かし過ぎない水管理

① 中干し以降は土を乾かささない。
② 土壌の乾燥による肥効の低下を起こさせない。

③ 登熟期は、足跡水程度になれば入水する飽水管理を実施する。

表3 'ひめの凜'の施肥基準

	成分量 (kg/10a)		
	窒素	リン酸	カリ
基肥	4	6	4
穂肥	4	0	4
合計	8	6	8

表4 葉色による穂肥診断基準

葉色 (SPAD値)	穂肥量		備考
	窒素成分量 (kg/10a)		
31~33	4		基準量
34~36	3		標準量比2~3割減
37以上	2		葉色が下がってから再診断

④ 台風や強風が予想される場合は、その前に深めに湛水する。
⑤ 収穫7~5日前までは落水しない。

(4) 適正な葉色維持に向けた肥培管理

深耕、堆肥やケイ酸鉄等を含む土壤改良材の施用により気象変動に強い土づく

りを行う。

基肥—穂肥体系での施肥を基本として、施肥量は、ヒノヒカリに準じ、窒素成分で合計8kg/10a(表3)。基肥—発体系においても同様である。ただし、基肥は地力に応じて調整し、過繁茂を防止する。

基肥—穂肥体系、基肥—発体系に関わらず、出穂20日前(幼穂長が2mm)を目安に穂肥診断を実施し、葉色に応じ施肥量を調節して、穂肥を施用する(表4)。また、高温年等は、穂肥前でも葉色が落ちる前(SPAD値で31まで)には追肥を行い、適正な葉色を保つ。

玄米タンパク質含有率の上昇を懸念して穂肥施用量を控える場合があるが、穂肥診断に基づき適正量の穂肥を施用すると、玄米タンパクを上げることなく、良質安定生産できる。

(5) 適期収穫

'ひめの凜'は収穫時まで葉色が濃いので、葉色に惑わされず、適期に収穫する。収穫時期の目安は、6月上旬移植で、8月下旬出穂、10月上旬収穫。6月中旬移植で、8月末出穂、10月中旬収穫である(表5)。

収穫適期は、地力や施肥量、登熟期の

表5 ‘ひめの凜’の収穫時期の目安

田植え時期	出穂	収穫
6月上旬	8月下旬	10月上旬
6月中旬	8月末	10月中旬

表6 ‘ひめの凜’の収穫適期基準

項目	適期
出穂後日数	45日前後
積算温度（出穂後の日平均気温の合計）	1,000℃前後
有効積算温度（出穂後の日平均気温から10℃を引いた合計）	571～607℃
最長稈黄変率	85～90%
収穫時の籾の水分率	25%

気温で変動するため、出穂後日数、最長稈黄変率、積算気温に加え有効積算温度（出穂後の日平均気温から10℃を引いた積算温度）等の収穫適期基準（表6）を参考として活用し、圃場観察をしながら適期収穫に努める。

5. その他の栽培技術のポイント

先に述べた重要なポイントに加えて、以下の点についても留意する。

(1) 移植適期

移植時期は6月15日までとし、それ以降の遅植えは避ける。

‘ひめの凜’は、高温に対しては強いので、登熟期の高温を避けるため移植を遅らせる必要はない。むしろ、遅植えした場合、低温年には、登熟期の気温の低下により登熟不良となり、収穫時期の遅れや収量、品質の低下が懸念される。

(2) 栽植密度

栽植密度は坪50株（30cm×22cm、15.2株/m²）を基本とする。

極端な疎植では分けつ過多となり、穂揃いや籾の充実が揃わなくなる恐れがあるため、栽植密度は坪当たり50株を基準とする。

また、1株当たりの植え付け本数は3〜4本とし、掴みすぎによる過繁茂を防止する。

(3) 病害虫防除

基幹防除を徹底したうえで圃場観察に努め、病害虫の発生を確認したら、速やかに適期防除を行う。

①育苗時には、種子伝染性病害虫を予防するため、必ず種子消毒を行う。

②田植え時には、いもち病やウンカ類等の予防のため、箱施用剤を施用する。

③出穂期以降、カメムシや穂いもち病、ウンカ類等の適期防除に努める。

④いもち病に対する抵抗性は、‘ヒノヒカリ’と同程度の「やや弱」であるので、特に育苗時の基幹防除を徹底し罹病苗を本田に持ち込まない。

6. おわりに

令和元年産は、‘ひめの凜’本格栽培スタートの年でしたが、西予市の若手生産者が出品した、‘ひめの凜’が、第21回米・食味鑑定コンクール国際総合部門で最高位の金賞を受賞するなど全国的にも、‘ひめの凜’は良食味米として非常に高い評価を受けているところです。

愛媛県では、これを弾みに生産者や農業団体等の皆様とともに、‘ひめの凜’の生産拡大やブランド力向上に向けて取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、愛媛県民に愛される良食味米‘ひめの凜’に育つよう御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

「スミロディー乳剤」の適用拡大について

住友化学株式会社 アグロ事業部 営業部 大阪営業所 上原 宏之

一、はじめに

スミロディー乳剤はかんきつでの登録が削除され、みかんとなつみかんの登録となっておりましたが、令和元年6月27日に、かんきつ（みかんを除く）で適用拡大を致しました。

二、登録内容

みかん及びかんきつ（みかんを除く）での登録内容を表1の通り抜粋しました。

使用時期は「収穫14日前まで」です。かんきつ以外での登録内容の詳細はラベルをご参照ください。

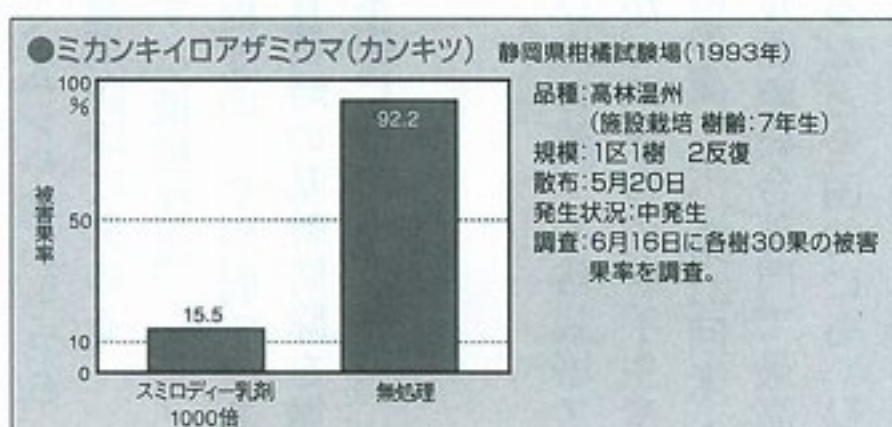
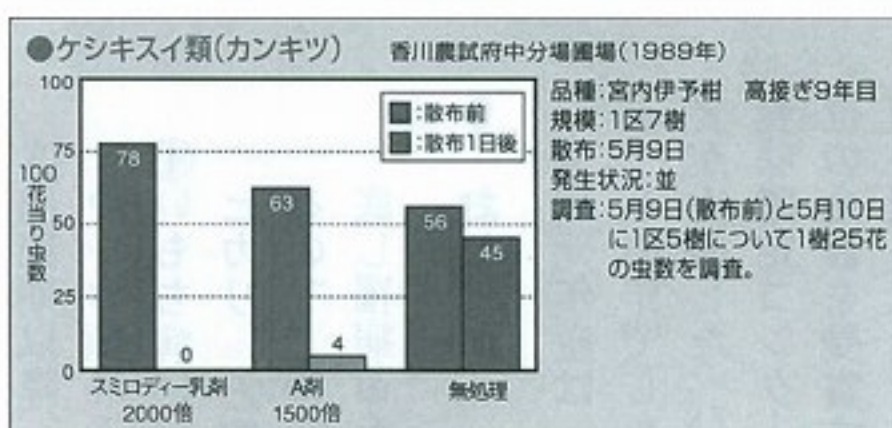
三、スミロディー乳剤の特長

① 幅広い殺虫スペクトラム

スミロディー乳剤はフェンプロパトリン（ロディー）とMEP（スミチオ）の混合剤のため、殺虫スペクトラムが広く、かんきつ、果菜類、茶など

表1 2020年2月現在 登録内容抜粋

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
みかん	コアオハナムグリ、ケシキスイ類 チャノキイロアザミウマ カメムシ類、アブラムシ類	1000 ～2000倍	200～700 L /10a	収穫 14 日前 まで	4回以内	散布
	ミカンハモグリガ	2000倍				
	ミカンハダニ	1000倍				
	ミカンキイロアザミウマ					
かんきつ (みかんを除く)	コアオハナムグリ、ケシキスイ類 チャノキイロアザミウマ カメムシ類、アブラムシ類	1000 ～2000倍	200～700 L /10a	収穫 14 日前 まで	3回以内	散布
	ミカンハモグリガ	2000倍				
	ミカンハダニ	1000倍				
	ミカンキイロアザミウマ					
	(適用外)					



の主要害虫に高い効果を示します。

② 難防除害虫にも高い効果

スミロディー乳剤は有機リン剤や合成ピレスロイド剤などの単剤では防除困難なアブラムシ類、ミカンキイロアザミウマなどの害虫に対しても優れた防除効果を示します。

③ 上手な使い方

加害防止効果にも優れており、速効性と残効性を活かして害虫発生初期の防除を行うとより効果的です。同時に発生している数種の害虫の併殺効果をねらってください。また、薬液のかか

りにくい葉裏、下葉などにもむらなく均一に散布するよう、心がけてください。

i-農力ホームページ

<https://www.i-nouryoku.com>

四、使用上の注意事項（抜粋）

蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しないでください。

水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

その他、注意事項についてはラベルをご確認ください。

五、おわりに

本剤はフェンプロパトリン（ロデュー）とMEP（スミチオン）の混合剤で、訪花害虫及び、カメムシ類等に幅広いスペクトラムを有した殺虫剤です。

以前、ご使用された方も多いかと思いますが、ようやく適用拡大を致しました。

スミチオン乳剤及びロデュー乳剤と合わせて、未永くご愛顧いただければ幸いです。

IMCCCD カンボジア便り V O I ・ 28

NPO法人 国際地雷処理・地域復興支援の会 (IMCCCD)
IMCCCD ニュースレター カンボジア便り 2019年12月号より

カンボジア

地雷処理の現場から

IMCCCD 理事長兼現地代表

高山良二

「カンボジアの現実」

カンボジアでは、1970年代から90年代にかけて、血で血を洗うような内戦が行われたという歴史があります。1992年にPKO(国連平和維持活動)が開始され、翌年1993年にはカンボ



対戦車地雷を踏み大破したトラクター(2019年6月)

ジア王国が再建され現在に至っておりますが、長い内戦で国内に埋められた地雷は400万個〜600万個とも言われています。CMAC(カンボジア地雷対策センター)を中心として、日本からは我々IMCCCDと他にJMASなどの団体がCMACと共同事業でこれに参画をし、地雷処理活動を行っております。しかしながら、カンボジアに地雷や不発弾がまだ多く残っていて、住民に被害を与えているという現状は、殆ど知られておりません。

日本では「もうカンボジアには地雷や不発弾はない」と思われている方もおられるように、現状を正しく知るといふことは大変難しい事だと思えます。特に、タイ国境の通称「地雷ベルト地帯」と呼ばれた地域は、今でも農地を耕作していたトラクターが対戦車地雷を踏んでしまい、大破して運転手が亡くなるという事故や、子どもたちが、地雷や不発弾で遊んでいるときに爆発して死傷するという

痛ましい事故は絶えません。そのような現実がある中、IMCCCDは内戦時に最後の激戦地であったタイ国境地帯のパイリン州、バットアンバン州のカムリエン郡、プノンプラ郡、サンパウルーン郡で活動を続けています。

「積極的に学ぶ子どもたち」

IMCCCDは地雷・不発弾処理活動の他に学校、井戸、車いす寄贈仲介、日本語学校運営、地場産業の育成など地域の復興支援活動にも取り組んでいます。

現在、IMCCCDの日本語学校で学び、卒業した子どもたちの中には、IMCCCDの留学生支援で松山東雲女子大学にて勉学に励んでいるリスラエンの他に、1期生のソピアアップが、カンボジアの国費留学生に選ばれ、来日し、大阪教育大学にて学んでいます。地雷・不発弾処理活動を主活動としながら、カンボジアの未来を担う子どもたちの教育支援を継続してきた成果がこのような嬉しい形で表れてきております。地



雷・不発弾処理活動だけでなく、様々な復興支援活動や平和構築の理念を内外に啓発し続けたいと思っておりますので、引き続きIMCCDの活動を見守っていただけるよう宜しくお願い申し上げます。

「奇跡体験！アンビリバボー」放送

5月に「奇跡体験！アンビリバボー」の取材チームがカンボジアを訪れ、IMCCDの活動地などを撮影し、理事長や東京支部の中里支部長が取材を受けました。高山理事長が何故カンボジアで活動を始め、人生をかけ活動が続けているのか？など高山理事長の半生を再現したド라마を含めたドキュメンタリー番組が、フジテレビ系列にて6月13日に放送され



取材、編集作業でお世話になった放送局、制作の皆さま全てに心から感謝いたします。

ました。

放送後は全国から温かいお気持ちのご支援のお申し出や沢山のお問い合わせを頂き、大きな反響がありました。当会の活動に高い関心を寄せてくださる方が増え、地道に行ってきた活動に間違いがなかったのだと実感することが出来ました。

放送直後の6月22日に名古屋にて行われた講演会に足をお運びくださる方がいたり、新たに私たちの活動を知っていただきっかけとなる番組でした。

地雷のない未来を

村人たちと共に

FROMカンボジア

IMCCD日本語学校
満員御礼！

現在、IMCCD日本語学校ではちびっこクラス50名 初級クラス30名の子どもたちが毎日、日本語を勉強しています。

放課後の16時頃から17時にかけて、食事を済ませた子どもたちが続々とスクーターや自転車に乗って学校へやってきま



ドッジボール開始前の握手！

00〜日本語の授業。19時に下校という時間割です。

ラジオ体操とドッジボールのお蔭で、日本語学校の生徒もずいぶん増えました。

高山理事長は自衛官時代に培った指導力で「ピッ！アウト！」とホイッスルを鳴らしながら、子どもたちにかかりとルールを守る事を教えています。

カンボジアでは体育の授業がない小学校もあり、スポーツでルールを守る事、集団行動をする事、チームワークで何かに挑戦する事があまり得意ではないようです。

スポーツを通じて、子どもたちが楽しみながら、何か感じてくれればと思っています。

す。IMCCD日本語学校の授業は訪問者の方が教えてくださったラジオ体操から始まりま

17：30〜野生児の（？）ドッジボール。18：

日本語学校の先生に インタビュー

現在、IMCCD日本語学校には5人の先生がいます。実はまだ14〜18才の若い先生たちです。フレッシュな先生たちに話を聞きました。

Q. いつから日本語の勉強をしていますか？

— 3, 4年前からIMCCD日本語学校で勉強をしています。

Q. 日本語を教えるのはどうですか？

— 小さい子が言うことを聞かなかつたりする時は大変ですが、みんな協力して教えています。

Q. 楽しいのはどんな時ですか？

— みんなでドッジボールやラジオ体操をする時です。訪問者の方が来るのも楽しみです。



左からダエンナ・カニカ・ソマリ・サオポン・ラスマイ 若い先生たち

— 新しい日本語が学べます。先生になれて、嬉しいです。

Q. 訪問者の皆さんと子どもたちはどんな様子で交流していますか？

— 訪問者の方から寄せられたメッセージを一部ご紹介

近藤 智弘様
(子どもたちにラジオ体操を指導)

生徒50人位にラジオ体操や日本の文化などを教えました。カンボジアの生徒は笑顔が良く、日本の生徒より反応が良いのでめちゃくちゃ楽しい時間を過ごせました。

高山さんが現地のほとんどの人からター(おじいちゃん)と呼ばれ大変慕われていた事が印象でした。

佐藤 達也様
(タサエン村に6泊7日)

子どもたちと、ドッジボールや縄飛び、ラジオ体操をやりました。皆、目が輝いて、羨ましくなるくらい楽しそうにやっ

2019年7、8月には夏休みを利用した小学生を含む80名の方がタサエン村を訪問。子どもたちとの交流や地雷処理の現場を見学されました。



みんなで一緒に盆踊り



地雷処理の現場を見学

ていたのででしょうか？
— とても楽しそうです。日本の歌や文化を勉強できます。でも訪問者の皆さんが短い時間で帰ってしまう時、残念です。

Q. 最後に、メッセージをお願いします。
— 皆さん、タサエン村へ来てください。子どもたちみんな待っています。

「いつ戻ってくるの？」と何人もの子どもたちから聞かれました。またタサエンに戻って来られるように、成長して帰ってきたいです。

ていました。日本語の授業でも、恥ずかしながら大きな声で元気よくやっていたのがとても印象に残っています。

タサエーン村通信

IMCCD日本語学校

校長代理 オンさん



私の仕事は、学校の掃除や日本語学校の先生のお手伝いをする事です。

一番大変な仕事は、学校前の大きな道路の交通整理です。夕方やってきて、夜暗くなって帰るたくさんの子どもたち。自分でスクーターを運転して遠くからやってくる子もいます。安全に通学できるように、これからも見守っていきます。
(2019年8月就任)

IMCCD活動目的

- ① カンボジア政府機関のCMAC(カンボジア地雷対策センター)と共同して、住民による地雷活動を進める。
- ② 自立可能な地域の復興を支援するとともに、相互の友好交流を促進する。
- ③ この様な活動を通じて平和構築の理念を広く内外に啓発することに努める。

IMCCDの具体的な活動

- ① 地雷原を畑、道路、学校に!
- ② 学校建設と運営支援
- ③ 地場産業の育成と支援
- ④ 日本の企業を誘致
- ⑤ 井戸掘り
- ⑥ 道路整備
- ⑦ 平和教育の一環としての講演活動

松山事務局

〒790-0011 愛媛県松山市
千舟町7-7-3 伊予肥ビル2F
TEL/FAX: 089-945-6576
(平日13時~17時)
E-mail: info@imccd.org
H P: http://www.imccd.org
Twitter: @imccdorg

IMCCD

検索

※随時各種団体、企業、学校への講演を受け付けています。

ご寄贈報告(完成分)

学校

- ・おりづる小学校
(植木重夫様・定森信治様・高木克敏様・広島ガス北部販売株式会社様)



井戸

- ・吉田善人様(4基目)
- ・横浜鳥の会の皆様
- ・上元泰介様

会員募集

正会員(法人)...	年会費	1口	30,000円
正会員(個人)...	年会費	1口	5,000円
賛助会員(法人)...	年会費	1口	20,000円
賛助会員(個人)...	年会費	1口	3,000円

平成27年度より改定しました。

寄付・物資寄贈...随意

留学生基金...随意

振込先

郵便振込 国際地雷処理・地域復興支援の会
01630-5-61100

銀行振込 愛媛銀行 本店営業部
(トクヒ) コクサイジライショリ
9062845

4月～6月の主要病害虫防除暦

村上産業株式会社 阿部 龍助

木々もすっかり芽吹き、新緑の葉が茂る季節となりました。今年も本格的な防除の時期が始まりますが適期防除を心がけるとともに、農薬を実際に使用する際には、農薬ラベルの表示事項（使用方法、注意事項等）を確認の上、使用をお願いします。尚、本誌発行時に農薬の登録が変更されている場合がありますので、使用時には登録の再確認をお願いします。

2020年度 温州みかん防除暦

月別	病害虫名	薬剤名	使用回数	●安全使用基準	人畜	水産(注) P14参照	備考
3月	ミカンハダニ・ヤノネカイガラムシ	ハーベストオイル	60～80倍	-/-	普	△	
4月	そうか病	デランフロアブル	1000倍	30日前/3回	劇	×	○デランフロアブルは新梢が1cm位伸びた時期が散布適期。皮膚かぶれに注意する。 *バレード15フロアブル、ファンタジスタ顆粒水和剤、ストロビードライフロアブルも登録有り。
5月	灰色かび病・黒点病・そうか病	フロンサイドSC 又は ファンタジスタ顆粒水和剤 又は ナディーボフロアブル	2000倍 4000倍 1500倍	30日前/1回 14日前/3回 前日/3回	普 普 普	×* △ △	○フロンサイドSCは、皮膚かぶれに注意する。
	灰色かび病	ロブラール水和剤 又は スイッチ顆粒水和剤 又は バレード15フロアブル	1500倍 3000倍 3000倍	7日前/3回 7日前/3回 7日前/2回	普 普 普	△ △ ○	バレード15フロアブルはそうか病に登録あり。
	訪花害虫 (開花期)	ロディー乳剤 又は スミロディー乳剤 オリオン水和剤40 又は キラップJ水和剤 又は アークリン水和剤	2000倍 1500倍 1000倍 4000倍 2000倍	7日前/4回 14日前/4回 14日前/3回 21日前/2回 14日前/3回	劇 劇 劇 普 普	×* × △ △ △	○オリオン水和剤40はケムシ類、アザミウマ類等にも登録あり。 ○キラップJ水和剤はケムシ類、アザミウマ類等にも登録あり。
	アブラムシ類・チャノキアザミウマ ヤノネカイガラムシ	コルト顆粒水和剤	3000倍	前日/3回	普	△	
	カイガラムシ類幼虫	アブロード水和剤	1000倍	14日前/3回	普	○	○アブロード剤の使用は、カイガラムシの発生時期に注意。
	黒点病	ジマンダイセン水和剤	600倍	30日前/4回	普	△	○固着性向上の為アピオンE加用
カイガラムシ類 ミカンサビダニ・チャノホコリダニ	アブロードエースフロアブル モベントフロアブル	1000倍 2000倍	14日前/2回 7日前/3回	普 普	×*	○アブロードエースフロアブルとダブルフェースフロアブルは同一成分を含むため総使用回数に注意する。	
コナカイガラムシ類 ヤノネカイガラムシ若齢幼虫	ダースバン乳剤40	1000倍	30日前/2回	劇	×*		
カイガラムシ類・アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	2000倍	前日/3回	普	○	トランスフォームはゴマダラカミキリに登録あり。	
ミカンハダニ・ミカンサビダニ チャノホコリダニ	カネマイトフロアブル	1000倍	7日前/1回	普	△		
ミカンサビダニ・チャノホコリダニ	コテツフロアブル	4000倍	前日/2回	劇	△*		
ミカンサビダニ アザミウマ類	アグリメック乳剤 又は ファインセーブフロアブル	2000倍 4000倍	7日前/3回 7日前/2回	劇 劇	△ △	アグリメックはチャノホコリダニ、ミカンハモグリガ、ナメクジ類に登録あり。	
アブラムシ類・アザミウマ類 チャノホコリダニ・ミカンサビダニ	ハチハチフロアブル	2000倍	前日/2回	劇	×*		
黒点病	ジマンダイセン水和剤	600倍	30日前/4回	普	△	○固着性向上の為アピオンE加用	
チャノキアザミウマ アブラムシ ゴマダラカミキリ ミカンハモグリガ	アクタラ顆粒水溶剤 又は アドマイヤーフロアブル 又は ダントツ水溶剤 又は モスピラン顆粒水溶剤・SL液剤	2000倍 4000倍 4000倍 4000倍	14日前/3回 14日前/3回 前日/3回 14日前/3回	普 劇 普 劇	○ ○ ○ ○	○夏マシンの使用上の注意点。 ・単用散布、6月中・下旬の散布。 ・1ヶ月間は次の薬剤を使用しない。 ・2～3日以上晴天条件下で散布する。	
チャノキアザミウマ ゴマダラカミキリ	エクシレルSE	5000倍	前日/3回	普	△	アゲハ類、ミカンハモグリガ、ミカンキジラミ、ハマキムシ類に登録有	
ミカンハダニ	ハーベストオイル	150倍	-/-	普	△		

○苗木育苗中の管理(カンキツ類)

ミカンハモグリガ / アクタラ顆粒水溶剤 10倍 10～100ml/樹 25倍 20～100ml/樹 春芽又は秋芽の発生前主幹部吹き付け/本剤の使用回数3回

ミカンハモグリガ・ミカンキジラミ・コナカイガラムシ類 / アクタラ粒剤 20g～40g/樹 育苗期株元散布/本剤の使用回数2回

ミカンハモグリガ・アゲハ類・アブラムシ類/ エクシレルSE 100倍 30～500ml/樹(但し、130ℓ/10aまで) 育苗期葉葉散布/本剤の使用回数3回

○ナメクジ対策としてスラゴ 1～5kg/10a ナメクリン3 1～3kg/10a、マイキラーL 200倍を施用する。

●印は収穫物への残留回避のため、収穫前使用回数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。(例 7日前/2回:収穫7日前までに2回使用可能)

農薬を实际使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、遵守するよう指導してください。

2020年度 かんきつ(みかんを除く)防除暦

月別	病害虫名	薬剤名	使用回数	●安全使用基準	人畜	水産(注) P14参照	備考
3月	ミカンハダニ・ヤノネカイガラムシ	ハーベストオイル	60~80倍	-/-	普	△	
	かいよう病	ICボルドー66D 又は ムッシュボルドーDF	40倍 500倍	-/- -/-	普 普	△ △	○発芽前に散布する。マシン油乳剤散布後は、30日以上間隔をあける。
4月下~ 5月上	かいよう病	ICボルドー66D又は コサイド3000 又は ムッシュボルドーDF	80倍 2000倍 500倍	-/- -/- -/-	普 普 普	△ × △	○ICボルドー ムッシュボルドー及びコサイド3000は、アブロン(200倍)を加用。アビオンE1000倍加用も可(葉焼け)
5月	灰色かび病・黒点病・そうか病	フロンサイドSC 又は ファンタジスタ顆粒水和剤 又は ナティーボフロアブル	2000倍 4000倍 1500倍	30日前/1回 14日前/3回 前日/3回	普 普 普	× △ △	○フロンサイドSCは、かぶれに注意する。
		ロブラール水和剤 又は スイッチ顆粒水和剤 又は パレード15フロアブル	1500倍 3000倍 3000倍	7日前/3回 45日前/3回 7日前/2回	普 普 普	△ △ ○	パレード15フロアブルはそうか病に登録あり。
	訪花害虫(開花期)	ロディー乳剤 又は スミロディー乳剤	2000倍 1500倍	7日前/4回 14日前/3回	劇 劇	×* ×	○オリオン水和剤40はケムシ類、アザミウマ類等にも登録あり。
		オリオン水和剤40 又は キラップJ水和剤 又は アークリン水和剤	1000倍 4000倍 2000倍	14日前/3回 21日前/2回 14日前/3回	劇 普 普	△ △ △	○キラップJ水和剤はケムシ類、アザミウマ類等にも登録あり。
	アブラムシ類・チャノキイロアザミウマ ヤノネカイガラムシ	コルト顆粒水和剤	3000倍	前日/3回	普	△	
	カイガラムシ類幼虫	アブロード水和剤	1000倍	45日前/3回	普	○	○アブロード剤の使用は、カイガラムシの発生時期に注意。
5月下 ~6月上	かいよう病	ICボルドー66D又は コサイド3000 又は ムッシュボルドーDF	80倍 2000倍 500倍	-/- -/- -/-	普 普 普	△ × △	○ICボルドー ムッシュボルドー及びコサイド3000は、アブロン(200倍)を加用。アビオンE1000倍加用も可(葉焼け)
6月	黒点病	ジマンダイセン水和剤	600倍	90日前/4回	普	△	○ジマンダイセン水の固着性を向上させる為にアビオンE1,000倍を可用。
	カイガラムシ類 ミカンサビダニ・チャノホコリダニ	アブロードエースフロアブル	1000倍	45日前/2回	普	×*	○アブロードエースフロアブルとダブルフェースフロアブルは同一成分を含むため総使用回数に注意する。
		モベントフロアブル	2000倍	7日前/3回	普		
	カイガラムシ類アブラムシ類	トランスフォームフロアブル	2000倍	前日/3回	普	○	○トランスフォームはゴマダラカミキリに登録有。
	コナカイガラムシ類 ヤノネカイガラムシ若齢幼虫	ダズバン乳剤40	1000倍	60日前/1回	劇	×*	
	ミカンハダニ・ミカンサビダニ チャノホコリダニ	カネマイトフロアブル	1000倍	7日前/1回	普	△	
	ミカンサビダニ・チャノホコリダニ	コテツフロアブル	4000倍	前日/2回	劇	△*	
	ミカンサビダニアザミウマ類	アグリメック乳剤 又は ファインセーフフロアブル	2000倍 4000倍	7日前/3回 7日前/2回	劇 劇	△ △	アグリメックはチャノホコリダニ、ミカンハモグリガ、ナメクジ類に登録あり。
		アブラムシ類・アザミウマ類 チャノホコリダニ・ミカンサビダニ	ハチハチフロアブル	2000倍	前日/2回	劇	×*
	黒点病	ジマンダイセン水和剤	600倍	90日前/4回	普	△	○ジマンダイセン水の固着性を向上させる為にアビオンE1,000倍を可用。
チャノキイロアザミウマ アブラムシ ゴマダラカミキリ ミカンハモグリガ	アクトラ顆粒水溶剤 又は アドマイヤーフロアブル 又は ダントツ水溶剤 又は モスピラン顆粒水溶剤・SL液剤	2000倍 4000倍 4000倍 4000倍	14日前/3回 14日前/3回 前日/3回 14日前/3回	普 劇 普 劇	○ ○ ○ ○	○夏マシンの使用上の注意点。 ・単用散布、6月中・下旬の散布。 ・1ヶ月間は次の薬剤を使用しない。 ・2~3日以上晴天条件下で散布する。	
	チャノキイロアザミウマ ゴマダラカミキリ	エクシレルSE	5000倍	前日/3回	普	△	○エクシレルSEはアゲハ類、ミカンハモグリガ、ミカンキジラミ、ハマキムシ類に登録あり。
ミカンハダニ・ヤノネカイガラムシ	ハーベストオイル	150倍	-/-	普	△		

●印は収穫物への残留回避のため、収穫前使用回数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。(例 7日前/2回:収穫7日前までに2回使用可能)

農薬を实际使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、遵守するよう指導してください。

2020年度 雑草防除暦

柑橘園雑草の防除法

月別		薬剤名	10a当り投下薬量	備考
4月	春草除草	バスタ液剤	500ml	
		ザクサ液剤	500ml	
ブリグロックSL		1000ml	毒物注意	
タッチダウンiQ		500ml		
サンダーボルト007		500ml		
6月		シンパー	200g～300g	水量200～300ℓ/10a
		ゾーパー	300g	茎葉処理除草剤との混用散布。

野菜畑地雑草の防除法

処理時期	薬剤名	10a当り薬量	備考
発芽前処理	ゴーゴーサン乳剤	200～500ml	
	クレマート乳剤	200～400ml	
	ラッソー乳剤	150～300ml	
	フィールドスターP乳剤	50～120ml	ハキダメギクに高い効果。
	ゴーゴーサン細粒剤F	4～6kg	
	クレマートU粒剤	4～6kg	
	コンボラル	4～6kg	
発芽後処理	セレクト乳剤	50～75ml	○セレクト乳剤はスズメノカタビラにも有効。(効果発現は遅い)
	ナブ乳剤	200ml	○ナブ乳剤は、イネ科雑草優先畑で使用する。
	アクチノール乳剤	150～200ml	○アクチノール乳剤は、広葉雑草優先畑で使用する。
	バサグラン液剤	60～120ml	○バサグラン液剤は、たまねぎ(秋播)生葉4葉期までに散布する。
播種前又は、植付け前	ザクサ液剤	500ml	
	ブリグロックSL	1000ml	毒物注意

農薬を実際使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、遵守するよう指導してください。

2020年度 キウイフルーツ(ハイワード)防除暦

月別	病害虫名	薬剤名	使用倍数	※安全使用基準	人畜	水産(注) P17参照	備考
11月下旬	かいよう病	ICボルドー66D 又は ムッシュボルドーDF	50倍 1000倍	収穫後～発芽前 -/-	普 普	△ △	○収穫後散布
12月～1月	カイガラムシ類	トモノールS	30倍	発芽前	普	△	
1月	かいよう病	ICボルドー66D ムッシュボルドーDF	50倍 1000倍	収穫後～発芽前 -/-	普 普	△ △	○剪定枝や果更枝、落葉等は軟腐病の感染源になるので 園外で適切に処分する(管理)
2月	かいよう病	ICボルドー66D 又は ムッシュボルドーDF	50倍 1000倍	休眠期～発芽前 -/-	普 普	△ △	○剪定終了後散布
3月	かいよう病	ICボルドー66D 又は コサイド3000 又は ムッシュボルドーDF	50倍 2000倍 1000倍	休眠期～発芽前 収穫後～果実肥大期 -/-	普 普 普	△ × △	○発芽前散布 ○発芽した園は葉ヤケ防止のためコサイド3000又はムッシュボルドーにアブロン200を加用散布する ○発芽前散布
4月	花腐細菌病 かいよう病	コサイド3000 又は 銅水和剤に アブロン(加用)	2000倍 1000倍 200倍	収穫後～果実肥大期 発芽後叢生期/4回 -	普 普	× △	*叢生期(新梢長約10cm) ○アブロンは、銅水和剤の葉害軽減。
	かいよう病	ムッシュボルドーDFに アブロン(加用)	1000倍 200倍	-/- -	普	△	○アブロンは、銅水和剤の葉害軽減。
5月	花腐細菌病 かいよう病	アグレプト水和剤 又は アグリマイシン100水和剤又は コサイド3000に アブロン加用	1000倍 1000倍 2000倍 200倍	90日前/4回 落花期まで/3回 収穫後～果実肥大期	普 普 普	△ △ ×	○雨の多い時は4月上旬～5月下旬ごろ降雨前散布。 ○アブロンは、銅水和剤の葉害軽減。
	カメムシ類	アドマイヤーフロアブル アディオン乳剤	2000倍 2000倍	前日/2回 7日前/5回	劇 普	○ ×*	
	カイガラムシ類幼虫	アブロード水和剤	1000倍	前日/2回	普	○	
	果実軟腐病	ベンレート水和剤 又は アリエッティ水和剤	2000倍 600倍	7日前/5回 幼果期まで120日前/2回	普 普	△ ○	○ベンレート水和剤は、すす斑病にも登録がある。
6月上旬 ～中旬	かいよう病	コサイド3000 アブロン(加用)	2000倍 200倍	収穫後～果実肥大期 -	普	×	○かいよう病防除は梅雨明けまでの間、1か月以内の間隔で薬剤防除を徹底する。降雨前に防除を行う。 ○アブロンは、銅水和剤の葉害軽減。
6月	灰色かび病 (果実軟腐病)	ロブラール水和剤 又は フロンサイドSC	1500倍 2000倍	開花期～落花期/4回 7日前/1回	普 普	△ ×*	○果実軟腐病防除は6～7月が特に重要、雨の多い年は10日間隔で梅雨明けまで散布。 ○フロンサイドSCは、かぶれに注意。
	果実軟腐病	アリエッティ水和剤 又は ベンレート水和剤	600倍 2000倍	幼果期まで120日前/2回 7日前/5回	普 普	○ △	○アリエッティ水和剤は収穫前日数(120日)に注意 ○ベンレート水和剤は、すす斑病にも登録がある。
	キイロマイコガ	フェニックスフロアブル アディオン乳剤 スカウトフロアブル	4000倍 2000倍 2000倍	7日前/3回 7日前/5回 前日/5回	普 普 劇	△ ×* △*	
	カイガラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	7日前/3回	劇	○	

○キウイフルーツは、特に薬剤が付着しにくいので、銅剤以外は必ず展着剤アブローチBI・1000倍又は、まくびか・10000倍を加用する。

○果実肥大促進のため、フルメット液を使用する場合は、開花期後20～30日に1～1.5ppmで果実浸漬又は、果実散布処理をする。(1回)(登録は1～5ppm)

○かいよう病防除については、発生していない園も必ず防除を徹底する。(単用散布とする)

○コサイド3000、ICボルドー66D、銅水和剤及びムッシュボルドーDFには展着剤を加用しない。※銅剤への加用はしない。

●印は収穫物への残留回避のため、収穫前使用日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。(例 7日前/2回:収穫7日前までに2回使用可能)

農薬を实际使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、遵守するよう指導してください。

2020年度 柿 防 除 暦

月 別	病 害 虫 名	薬 剤 名	使用倍数	●安全使用基準	人畜	水産(注) P17参照	備 考
4月	カイガラムシ類幼虫	アブロード水和剤	1000倍	開花期まで 但し、45日前/2回	普	○	○必ず開花期までに使用する。
	フジコナカイガラムシ	トクチオン水和剤	800倍	75日前/2回	普	△	
5月	炭疽病・落葉病	ジマンダイセン水和剤	400倍	45日前/2回	普	△	
	うどんこ病	イオウフロアブル	500倍	-/-	普	○	高温時散布しない。
6月上旬	炭疽病・落葉病 灰色かび病	ストロビードライフロアブル	3000倍	14日前/3回	普	△	西村早生では葉に葉斑を生じるので使用しない。 ○コテツフロアブルはカキノヘタムシガに登録あり トクチオン水和剤はカキノヘタムシガに登録あり。 収穫前日数(75日)注意
		ベルコート水和剤	1000倍	14日前3回	普	△	
		ファンタジスタ顆粒水和剤	4000倍	前日/2回	普	○	
	カキノヘタムシガ	バダンSG水溶剤	1500倍	45日前/4	劇	×	
		フェニックスフロアブル 又は サムコルフロアブル	4000倍 5000倍	7日前/2回 前日/3回	普 普	△ △	
	カキサビダニ	コテツフロアブル	2000倍	14日前/2回	劇	△*	
フジコナカイガラムシ	コルト顆粒水和剤 又は モベントフロアブル 又は	3000倍 2000倍	前日/3回 7/3回	普 普	△ ○		
	トクチオン水和剤	800倍	75日前/2回	普	△		
6月下旬	炭疽病 落葉病	ジマンダイセン水和剤 又は	400倍	45日前/2回	普	△	カキノヘタムシガに登録あり ○コテツフロアブルはカキノヘタムシガに登録あり。
		オンリーワンフロアブル 又は	2000倍	14日前/3回	普	○	
		キノドーフロアブル 又は	800倍	着色期前まで但し、14日前/5回	普	×*	
	フジコナカイガラムシ	サイアノックス水和剤 又は	1000倍	45日前/3回	普	△	
		モスピラン顆粒水溶剤 コルト顆粒水和剤	2000倍 3000倍	前日/3回 前日/3回	劇 普	○ △	
カキサビダニ	コテツフロアブル	2000倍	14日前/2回	劇	△*		

そ の 他 病 害 虫

月 別	病 害 虫	薬 剤 名	濃 度	●安全使用基準	人畜	水産(注)	備 考
5/下	チャノキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	3日前/3回	普	○	アザミウマ類登録
		アグロスリン水和剤	1000倍	前日/3回	劇	×*	カキクダアザミウマに登録あり
ダントツ水溶剤		2000倍	7日前/3回	普	○	アザミウマ類登録。カキクダアザミウマに登録あり	
テルスターフロアブル		3000倍	3日前/2回	劇	×*		
モスピラン顆粒水溶剤		2000倍	前日/3回	劇	○	アザミウマ類登録	
コルト顆粒水和剤		3000倍	前日/3回	普	△		
ディアナWDG		10000倍	前日/2回	普	○	アザミウマ類登録。カキクダアザミウマに登録あり	
キラップフロアブル		2000倍	7日前/2回	普	○	アザミウマ類登録	

●印は収穫物への残留回避のため、収穫前使用日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。(例 7日前/2回: 収穫7日前までに2回使用可能)

農薬を实际使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、遵守するよう指導してください。

2020年度 水稲病虫害防除暦

使用時期	薬剤名	濃度	病虫害名	摘 要
箱消毒	イチバン	1000倍	育苗箱消毒	瞬時浸漬/魚毒が強いため廃液処理注意。
種子消毒	スポルタックスターナSE	200倍	いもち病・もみ枯細菌病・ばか苗病・ごま葉枯病	*スポルタックスターナSEについては欠品中 代替剤はベンレート水和剤又はトリフミン水和剤、乳剤 +スターナ水和剤 200倍/24時間浸漬
	スミチオン乳剤	1000倍	イネシソングレセンチュウ	24時間浸漬/ 塩水選-水選-薬剤処理-水切-風乾-浸種-催芽-播種
	ベンレート水和剤	500～1000倍	いもち病・ばか苗病・イネシソングレセンチュウ	12～24時間種子浸漬
	トリフミン水和剤 トリフミン乳剤	300倍	ばか苗病・ごま葉枯病・いもち病	24～48時間種子浸漬
播種時～緑化期	ダコニール1000	500～1000倍	苗立枯病(リゾプス菌)	播種時から緑化期 但し、播種14日後までに灌漑処理(希釈液500ml/箱)

平 野 部				
月	病虫害名	薬剤名	薬量/10a	適用
	箱処理剤	ビルダープリンスグレートM粒剤	箱当50g	緑化期～ 移植当日処理
		ブイゲットプリンスリンパーL粒剤	箱当50g	緑化期～ 移植当日処理
		フルサポート箱粒剤	箱当50g	移植2日前～ 移植当日処理
		ルーチンアドスピノGT箱粒剤	箱当50g	移植2日前～ 移植当日処理
		エバーゴールド箱粒剤	箱当50g	播種時～ 移植当日
		箱いり娘	箱当50g	移植7日前～ 移植当日処理
		ビルダーフェルテラチェスGT粒剤	箱当50g	緑化期～ 移植当日

中 山 間 部					
月	病虫害名	薬剤名	薬量/10a	適用	
	箱処理剤	Dr.オリゼプリンス粒剤10	箱当50g	緑化期～ 移植当日処理	
		ビルダーフェルテラチェス粒剤	箱当50g	緑化期～ 移植当日処理	
		ルーチンアドスピノ箱粒剤	箱当50g	は種時(覆土前)～ 移植当日処理	
		Dr.オリゼリディア箱粒剤	箱当50g	移植3日前～ 移植当日処理	

備考

重複散布は次年度の作物に影響を及ぼす恐れがあるので注意する。後作に馬鈴薯は定植しない。(薬害)

農薬を实际使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、遵守するよう指導してください。

2020年度 水稲育苗箱処理剤適用病害虫一覧表

薬剤名/病害虫名	いもち病	紋枯病	白葉枯病	もみ枯細菌病	内穎褐変病	ウンカ類	イネミズゾウムシ	コブノメイガ	ニカメイチュウ	イネツトムシ	ツマグロヨコバイ	イネアザミウマ	イナゴ類	フタオビコヤガ
Dr. オリゼプリンス粒剤10	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
Dr.オリゼリディア箱粒剤	○					○	○		○		○		○	○
箱いり娘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
ビルダーフェルテラチェスGT粒剤	○	○				○		○			○			
ビルダーフェルテラチェス粒剤	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
ビルダープリンスグレータム粒剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
ブイゲットプリンスリンパーL粒剤	○	○	○	○	○	○		○	○	○				
フルサポート箱粒剤	○	○				○	○	○	○	○	○			○
ルーチンアドスピノGT箱粒剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
エバーゴルワイド箱粒剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
ルーチンアドスピノ箱粒剤	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

注1 Dr.オリゼプリンス粒剤10の内穎褐変病、イネアザミウマについては移植3日前～移植当日処理の登録。

注2 ビルダープリンスグレータム粒剤の白葉枯病、もみ枯細菌病、イネミズゾウムシ、イネツトムシについては移植3日前～移植当日処理の登録。

注3 ブイゲットプリンスリンパーL粒剤のもみ枯細菌病は移植3日前～移植当日、内穎褐変病は移植当日の登録。

注4 ルーチンアドスピノ箱粒剤、白葉枯病は移植当日の登録。

注5 エバーゴルワイド箱粒剤は、は種時～移植当日の登録。

注6 ビルダーフェルテラチェスGTの紋枯病については移植3日前～移植当日の登録

農薬を実際使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、

遵守するよう指導してください。

2020年度 水稲本田粒剤及び液剤(フロアブル、水和剤)一覧表

分類	薬剤名	安全使用基準	10a当り 使用量 (粒剤) 倍率 (液剤)	いもち病	紋枯病	擬似紋枯症	穂枯れ(ごま葉枯病菌)	白葉枯病	もみ枯細菌病	ウシカ類	ウシカ類幼虫	イネミズゾウムシ	コブノメイガ	ニカメイチュウ	ツマグロヨコバイ	カメムシ類	アザミウマ類	スクミリンゴガイ(食害防止)	スクミリンゴガイ	登熟向上	高温登熟下における白米熟粒の発生軽減	
																						○
殺虫剤	スクミンベイト3	-/-	2~4kg																○			
	ジャンボたにしくん	収穫60日前/2回	1~2kg																○			
	スクミン	収穫60日前/2回	1~4kg																○			
	メタレックスRG	移植後(収穫90日前/2回)	0.7~1.4kg																○			
	アブロードバダン粒剤	収穫30日前/4回	3~4kg								○		○	○	○							
	アルバリン粒剤	収穫7日前/3回	3kg							○					○	○						
	キラップ粒剤	出穂1週間前~出穂期に処理 (収穫14日前/2回)	3kg							○	○						○					
	バダン粒剤4	収穫30日前/6回	3~4kg											○	○	○			○	○		
	バダンバッサ粒剤	収穫30日前/5回	3~4kg							○		○	○	○	○	○			○			
	液剤	アルバリン顆粒水溶液	収穫7日前/3回	2000~3000倍							○						○	○				
エクシードフロアブル		収穫7日前/3回	2000倍							○						○	○					
エミリアフロアブル		収穫7日前/3回	1000倍							○						○	○					
アブロード水和剤		収穫7日前/4回	1000~2000倍								○						***					
Mr.ジョーカーEW		収穫14日前/2回	2000倍							○			○			○	○					
殺菌剤	リンバー粒剤	収穫30日前/2回	3~4kg		○	○																
	オリゼート粒剤	葉いもち:初発10日前~初発時 (収穫14日前)	3~4kg																			
		穂いもち:出穂3~4週間前 (収穫14日前)	3~4kg																			
		いもち病:移植時/1回(側条施用)	3kg		○			○	○	○												
		白葉枯病、もみ枯細菌病:移植活着後・ 出穂3~4週間前(収穫14日前)	3~4kg																			
	穂枯れ(ごま葉枯病菌):出穂3~4週間前 /2回(収穫14日前)	3~4kg																				
	フジワン粒剤	葉いもちに対しては初発7~10日前 穂いもちに対しては出穂10~30日前 (収穫30日前/2回)	3~5kg		○																	
		出穂10~20日前 (収穫30日前/2回)	4kg																		○	○
	フジワンパック	出穂10~30日前 (収穫14日前/2回)	10~15個		○																	
		出穂10~20日前(収穫14日前/2回)	15個																			○
コラトップ豆つぶ	葉いもちに対しては初発10日前~初発時 穂いもちに対しては出穂30~5日前まで /2回	250g/10a		○																		
液剤	ブラシン水和剤	収穫7日前/2回	1000倍	○			○															
	ブラシンフロアブル	収穫7日前/2回	1000倍	○			○		○													
	ブラシンバリダフロアブル	収穫14日前/2回	1000倍	○	○	○	○		○													
	モンカットフロアブル	収穫14日前/3回	1000倍		○	○																
	モンカットラブサイド20フロアブル	収穫14日前/3回	1000~1500倍	○	○																	
	トライフロアブル	収穫14日前/2回	1000倍	○																		
殺虫殺菌剤	粒剤	フジワンラップ粒剤	出穂20日前~10日前 (収穫30日前/2回)	4kg	○					○				○		○					○	
		バダンバッサオリゼート粒剤	収穫30日前/2回	3~4kg	○				○	○	○		○	○	○	○						
	液剤	アブロードロムダンモンカットエアー	収穫21日前/2回	750倍		○					○		○	○		***						
		ビームキラップジョーカーフロアブル	収穫14日前/2回	1000倍	○						○		○			○	○					
ブラシントレバリダ水和剤	収穫14日前/2回	500倍	○	○		○			○						○							

農薬を实际使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、遵守するよう指導してください。

2020年度 水稲除草剤一覧表

使用時期	商品名	使用量/10a	適用
田植え前処理	エリジャン乳剤	300ml	植代後～移植7日前まで
	エリジャンジャンボ	300g(30g×10パック)	植代後～移植7日前まで
	ホットコンビフロアブル	300ml	植代後～移植前7日まで
	ショッカーフロアブル	500ml	植代後～移植7日前まで(在庫限り)
初期処理剤	エリジャン乳剤	300ml	移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで/1回
	エリジャンジャンボ	300g(30g×10パック)	移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで/1回
	ショッカーフロアブル	500ml	移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで/1回(在庫限り)
	ホットコンビフロアブル	300ml	移植直後～ノビエ1.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
初・中期 一発処理 粒剤	アピログロウMX1キロ粒剤	1kg	移植時・移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで/1回
	イッボンD1キロ粒剤51	1kg	移植時・移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
	イノーバDXアップ1キロ粒剤51	1kg	移植時・移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
	忍1キロ粒剤	1kg	移植時・移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
	ゼータタイガー1キロ粒剤	1kg	移植時・移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで/1回
	半蔵1キロ粒剤	1kg	移植時・移植直後～ノビエ1.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
	ビシット粒剤17	3kg	移植後5日～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで/1回
	ホクト粒剤	3kg	移植後5日～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで/1回
	ツルギ250粒剤	250g	移植時・移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
初・中期 一発処理 フロアブル	イッテツフロアブル	500ml	移植後5日～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
	イッボンDフロアブル	500ml	移植時・移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
	ツルギフロアブル	500ml	移植時・移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
	ゼータタイガーフロアブル	500ml	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで/1回
	スマートフロアブル	500ml	移植時・移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
	カリュードフロアブル	500ml	移植時・移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
初・中期 一発処理 ジャンボ剤	アピログロウMXジャンボ	400g(40g×10パック)	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで/1回
	イッボンDジャンボ	500g(50g×10パック)	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
	サスケ-ラジカルジャンボ	200g(20g×10パック)	移植後3日～ノビエ2葉期 但し、移植後30日まで/1回
	ゼータタイガージャンボ	300g(30g×10パック)	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで/1回
	ネビロス-ラジカルジャンボ	200g(20g×10パック)	移植後3日～ノビエ2葉期 但し、移植後30日まで/1回
	フルパワーMXジャンボ	500g(50g×10パック)	移植後5日～ノビエ3.5葉期 但し、収穫60日前まで/1回
	マサカリLジャンボ	500g(50g×10パック)	移植後5日～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
	ツルギジャンボ	250g(25g×10パック)	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/1回
中・後期剤	クリンチャーEW	100ml	移植後20日～ノビエ6葉期 但し、収穫30日前/2回
	クリンチャーバスメ液剤	1000ml	移植後15日～ノビエ5葉期 但し、収穫50日前/2回
	ワイドアタックSC	100ml	移植後20日～ノビエ5葉期 但し、収穫30日前/2回
	クリンチャー1キロ粒剤	1～1.5kg	移植後7日～ノビエ4葉期(1kg) 移植後25日～ノビエ5葉期(1.5kg) 但し、収穫30日前/2回
	アクシズMX1キロ粒剤	1kg	移植後7日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前/1回
	ニトウリュウ1キロ粒剤	1kg	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前/1回
	ニトウリュウジャンボ	500g(50g×10パック)	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前/1回

○ ウキクサ・アオミドロ・ウリカワ・表層剥離には、モグトン粒剤3～4kg/10aを発生時に散布すると良い。

農薬を实际使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、遵守するよう指導してください。

2020年度 主な野菜類の病害防除薬剤一覧表

病害名	処理方法	FRACコード	薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	いちご	キャベツ	ブロッコリー	レタス	たまねぎ	備考	
疫病	散布	21	ランマンフロアブル		2000	2000	2000	2000	500	2000				なすは褐色腐敗病で登録。	
		49+M3	ゾーベックエニベル		750										
		49+40	オロンディスウルトラSC		2000										
		U17	ピシロックフロアブル		1000	1000									
	散粒	11+4	ユニフォーム粒剤				3g/株								
べと病	散布	11	メジャーフロアブル							2000	2000	2000	2000		
		21	ランマンフロアブル	1000							2000	2000	2000		
		22	エトフィンフロアブル	1000											
		40	レーバスフロアブル		2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000		
		11+7	シグナムWDG								1500	1500		1500	
		27+40	ベトファイター顆粒水和剤	3000										2000	
		4+M3	リドミルゴールドTMZ	1000	1000					1000	1000			1000	
		49+11	ゾーベックエンカンティア										4000		
		49+M3	ゾーベックエニベル	750											
		49+40	オロンディスウルトラSC								2000		2000	2000	
		C5	フロンサイドSC											1000	
		M1+M5	シトラールフロアブル	1000							1000		1000		
		M5	ダコニール1000	1000							1000	1000	1000	1000	
U17	ピシロックフロアブル	1000							1000	1000	1000	1000			
	散粒	11+4	ユニフォーム粒剤												
べと病 炭疽病	散布	M1	キノンドー水和剤40	800							800	600			
		M3	ジマンダイセン水和剤	600	800				600	400			400		
べと病・炭疽病 灰色かび病	散布	4+M5	フォリオゴールド	1000	1000	1000	1000			1000	1000	800	1000		
灰色かび病	散布	2	スミレックス水和剤		1000		1000	1000				1000	1000		
		7	オルフィンフロアブル						2000			2000	2000		
		7	カンタスドライフロアブル	1500	1500	1500	1500	1500	1500			1500	1500	果菜類に使用する場合、機能性農薬剤の加用は避ける。	
		7	ケンジャフロアブル	1500								1500	1500		
		7	バレード20フロアブル	4000	4000	4000	4000		4000			4000	4000		
		9	フルピカフロアブル	3000	3000	3000	3000		3000						
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	3000	3000	3000	3000		3000	3000		3000	4000		
		11	メジャーフロアブル									2000	2000		
		12	セイビアーフロアブル20	1500	1500	1500	1000	1000	1000	1000			1500		
		17	ピクシオDF	2000	2000	2000	2000		2000						
		1+10	グッター水和剤	1500	1500	1500	1500					1500		ナスに使用する場合、機能性農薬剤の加用は避ける。	
		1+10	ニマイバー水和剤	1000	1000	1000	1000		1000			1000	1000		
		11+7	シグナムWDG		2000	2000	1500	2000	1500			1500	1500		
		11+M7	ファンベル顆粒水和剤	1000	1000					1000				1000	
		17+M7	ダイヤモンド		1500		1500			2000					
M7	ベルコート水和剤	4000	4000	6000	3000							1000			
うどんこ病	散布	3	サルバトーレME	2000	2000		2000	2000	2000						
		3	スコア顆粒水和剤	2000	2000		2000	2000	2000						
		3	ラリー水和剤	4000			4000	4000	4000						
		7	アフェットフロアブル	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000		
		7	オルフィンフロアブル							2000		2000			
		7	バレード20フロアブル	4000	4000	4000		4000	4000						
		11	アミスター20フロアブル	2000	2000		2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	農薬剤を使用しない。また、高温・多湿時の散布は避ける(農薬)。
		11	ストロビーフロアブル	3000			3000	4000	4000						
		11+7	シグナムWDG	1000	2000	2000	1500	2000	2000						農薬剤を使用しない。また、高温・多湿時の散布は避ける(農薬)。
		11+M7	ファンベル顆粒水和剤	1000	1000					1000					
		3+U6	バンチョウTF顆粒水和剤	2000	2000	2000	2000	2000	2000						
		M10	バルミノ	2000			2000								
		M7	ベルコート水和剤	4000			3000			4000					
		NC	ハーモメイト水溶剤	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	
		NC+M1	ジーファイン水和剤	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000					
U13+9	ショウチノスケフロアブル	2000	2000	2000	2000			2000							
U8	プロバティフロアブル	3000			3000	3000	3000								
-	カリグリーン	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	カリ肥料としての登録あり(生第86632号)有機JAS使用可能。		
斑点細菌病	散布	24+M1	カッパーシン水和剤	1000	1000			1000				1000			
		31+M1	ナレート水和剤									1000			
		M	Zボルドー	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	無機銅のため、使用に当たっては農薬に注意する。	
		M	コサイド3000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	無機銅のため、使用に当たっては農薬に注意する。	
		M1	キノンドー水和剤40	600											
		M1	ムッシュボルドー	500											無機銅のため、使用に当たっては農薬に注意する。
	散粒	P2	オリゼート粒剤	7.5kg/10a							9kg/10a				
さび病	散布	3	ラリー水和剤											左記作物ではさび病登録なし。ねぎ等のユリ科作物で登録あり。	
		NC	ハーモメイト水溶剤	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800		

2020年度 主な野菜類の病害防除薬剤一覧表

病害名	処理方法	FRACコード	薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	いちご	キャベツ	ブロッコリー	レタス	たまねぎ	備考	
菌核病	散布	1	トップジンM水和剤	2000	2000	2000	2000			1500	2000	2000			
		2	スミレックス水和剤	1000			1000	1000			2000		2000		
		7	オルフィンフロアブル								2000		2000	2000	
		7	カンタスドライフロアブル	1500	1500	1500	1500				1500	1500	1500		順用散布する。
		7	ケンジャフロアブル	1500									1500		
		7	バレード20フロアブル	4000			4000				4000	4000	4000		
		11	ファンクジスタ顆粒水和剤	3000	3000	3000	3000				3000	3000	3000		
		11	スクレアフロアブル	2000	2000	2000	2000						2000		
		11	メジャーフロアブル								2000	2000	2000		
		12	セイビアーフロアブル20	1500							1000	1000			1500
		17	ピクシオDF	2000	2000	2000	2000								
		1+10	ニマイパー水和剤	1000	1000	1000	1000						1000		
		7+11	シグナムWDG		2000	2000					1500	1500			

土壌総合処理剤

	薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	いちご	キャベツ	ブロッコリー	レタス	たまねぎ	備考
土壌消毒剤	NCS	300/10a	300/10a				300/10a	300/10a			300/10a	各薬剤とも使用に当たっては、製品ラベルの注意事項等を良く確認する事。
	キルパー	60L/10a	60L/10a	60L/10a	60L/10a	60L/10a	60L/10a	60L/10a	60L/10a	60L/10a	60L/10a	
	クロルピクリン錠剤	10錠/m ²	10錠/m ²	10錠/m ²	10錠/m ²	10錠/m ²	10錠/m ²	10錠/m ²		10錠/m ²	10錠/m ²	
	クロピクテープ	120a/100m ²	110a/100m ²	110a/100m ²	120a/100m ²	110a/100m ²	110a/100m ²			120a/100m ²		
	バスアミド微粒剤	30kg/10a	30kg/10a	30kg/10a	30kg/10a		30kg/10a	30kg/10a	30kg/10a	30kg/10a	30kg/10a	30kg/10a
センチチュウ剤	ネマキック粒剤	20kg/10a	20kg/10a	20kg/10a	20kg/10a	20kg/10a	20kg/10a	20kg/10a		20kg/10a		
	ネマトリンエース粒剤	20kg/10a	20kg/10a	20kg/10a	20kg/10a	20kg/10a	20kg/10a					
	ラグビーMC粒剤	30kg/10a	30kg/10a	30kg/10a	30kg/10a	20kg/10a	20kg/10a	20kg/10a				

農薬を実際使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、遵守するよう指導してください。

2020年度 主な野菜類の害虫防除薬剤一覧表(1)

害虫名	処理方法	IRACコード	薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	いちご	キャベツ	ブロッコリー	レタス	たまねぎ	備考	
チョウ目 コナガ アオムシ ヨトウムシ	散布	5	スピノエース顆粒水和剤	5000	5000	5000	5000	5000		5000	5000	5000		チョウ目害虫への登録倍率	
		5	ディアナSC		2500	2500	2500	2500	2500	2500	2500	2500	2500		
		6	アファーム乳剤	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	1000	1000	1000		
		13	コテツフロアブル	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000		
		15	カスケード乳剤	2000	2000	2000		2000	4000	2000	4000	4000			○カスケード乳剤はマメハモグリバエ、トマトハモグリバエ、ナモグリバエにも登録あり。
		15	マツチ乳剤	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	3000	2000		
		28	フェニックス顆粒水和剤	4000	4000	4000		4000	4000	4000	4000	4000			○ジアミド系は抵抗性コナガに注意。
		28	プレバゾンフロアブル5	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000			○ジアミド系は抵抗性コナガに注意。
		28	ベネビアOD	2000	2000	2000		2000	2000	2000	2000	2000	2000		ジアミド系は抵抗性コナガに注意。 アゾキシストロビン(アミスター)を含む農薬との混用、近接散布は注意。
		1A	ランネット45DF								1000	1000	1000		
		21A	ハチハチ乳剤	1000							1000	1000	1000		○ハチハチ乳剤、フロアブルは、うどんこ病(1000倍)にも効果あり。
		21A	ハチハチフロアブル							1000	1000		1000		○ハチハチ乳剤、フロアブルは、幼虫期に使用する場合は注意する。(農薬)
		22B	アクセルフロアブル		1000	1000	1000	1000			1000	1000	1000		○アクセルフロアブルはキスジ/ミハムシ、カブラハバチにも登録あり。
		2B	プリンスフロアブル								2000	2000			
		3A	アグロスリン水和剤						2000		1000				
3A	アディオオン乳剤						2000		2000	2000	2000	3000			
UN	プレオフロアブル		1000	1000	1000			1000	1000	1000	1000	1000			
コオロギ ダンゴムシ	散粒	28	ベリマークSC						1000	400	400	400		ジアミド系は抵抗性コナガに注意。	
		4A+28	ジュリボフロアブル							200	200	200		ジアミド系は抵抗性コナガに注意。	
		28	ブリロップ粒剤	2g/株	2g/株	2g/株	2g/株	2g/株		1g/株	1g/株	1g/株		ジアミド系は抵抗性コナガに注意。	
		4A+28	アベイル粒剤							40g/トレイ	40g/トレイ	40g/トレイ		ジアミド系は抵抗性コナガに注意。	
4A+28	ミネクトデュオ粒剤	1g/株	2g/株	2g/株	2g/株	2g/株		40g/トレイ	40g/トレイ	40g/トレイ		ジアミド系は抵抗性コナガに注意。			
ハダニ類	散布	1A	デナボン5%ベイト							3k/10a					
		6	アグリメック	1000	1000		1000	1000	1000						いちごについては親株生育期又は育苗期での使用可能。 トマトハモグリバエ等にも登録あり。
		15	カスケード乳剤				2000								
		23	モベントフロアブル	2000	2000	2000	2000	2000	2000						
		25	ダニサラバフロアブル	1000			1000	1000	1000						
		21A	ダニトロンフロアブル	2000	1000	1000	2000	1000	1000						
		21A	ピラニカEW	3000			3000		3000						
		3A	ロディー乳剤	1000			1000	1000	1000						
		5+	ダブルシューターSE		1000	1000	1000								○ハモグリバエ類、コナジラミ類、アザミウマ類にも登録あり。 ○キャブタン水和剤・ストロビルリン系薬剤との同時施用・近接散布は避けること
		-	アカリタッチ乳剤	2000	2000	2000	2000	2000	3000						野菜類登録。
-	サフオイル乳剤	300	300	300	300	300	300	300					有機JAS使用可能。物理性防除剤ではあるが、殺菌作用が高い。 トマトサビダコ、チャノホコリダコにも効果あり。野菜類登録。		
灌注	23	モベントフロアブル	500			500	500	500							

2020年度 主な野菜類の害虫防除薬剤一覧表(1)

害虫名	処理方法	IRACコード	薬剤名	きゅうり	トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	いちご	キャベツ	ブロッコリー	レタス	たまねぎ	備考	
カタツムリ類 ナメクジ類	散粒	-	スラゴ	3g/m ²	3g/m ²	3g/m ²	3g/m ²	3g/m ²	3g/m ²	3g/m ²	3g/m ²	3g/m ²	3g/m ²		
ネキリムシ類	散粒	1B	ネキリエースK							3kg/10a	3kg/10a	3kg/10a			
		3A	ガードベイトA	3k/10a	3k/10a	3k/10a	3k/10a	3k/10a	3k/10a	3k/10a	3k/10a	3k/10a	3k/10a		
		3A	フォース粒剤						6kg/10a	4kg/10a	4kg/10a				
	灌注	3A	アディオソ乳剤							4000					
		28	ベリマークSC			400				400					
ウリハムシ コガネムシ	散粒	1B	トクチオン細粒剤						6kg/10a					コガネムシ類幼虫で仮棲床の登録	
	混和	3A	フォース粒剤						6kg/10a						
ハモグリバエ類 (一部ナモグリバエ 含む)	散布	5	スピノエース顆粒水和剤	5000	5000	5000		5000						ハエ目への登録倍率	
		5	ディアナSC	2500	2500	2500	2500					2500	2500		
		6	アファーム乳剤	2000	2000	2000	2000								
		28	ブレバゾンフロアブル5	1000	1000	2000	1000						1000		
		28	ベネビアOD	2000	2000	2000							2000	2000	アブキシストロピン(アミスター)を含む農薬との混用、近接散布は注意。
		21A	ハチハチフロアブル										2000		○ナメクジ類にも適用有(レタス)
		4A	ダントツ水溶剤		2000	2000	2000								
	5+	ダブルシューターSE		1000	1000	1000								○ハダニ類、コナジラミ類、アザミウマ類にも登録あり。 ○キャプタン水和剤・ストロビルリン系薬剤との同時施用・近接散布は避けること	
	灌注	28	ベリマークSC	25ml/400株	25ml/400株	25ml/400株	25ml/400株						400		
		散粒	4A	アクトラ粒剤	1g/株	1g/株	1g/株	1g/株							
			4A	アルバリン粒剤	2g/株	2g/株	2g/株	2g/株							
			28	ブリロン粒剤	2g/株	2g/株	2g/株	2g/株						1g/株	
4A+28			アベイル粒剤	2g/株	2g/株	2g/株	2g/株	2g/株			2g/株	2g/株	40g/トレイ		

農薬を実際使用する際には、農薬ラベルの表示事項(使用方法、注意事項等)を確認し、遵守するよう指導してください。

※有益昆虫については別途確認する。

参考資料

水産動植物への影響

農林水産省は、平成17年に新たに薬剤の毒性試験結果及び当該薬剤の使用方法に基づいた、より実態に近い評価法(以下、「新評価法」という。)を導入し、平成23年度よりその運用を開始しているところであるが、本県は漁業生産額が全国3位(平成25年農林水産統計)の水産県であることから、水産動植物への影響を勘案し、農薬成分原体の評価である旧魚毒性分類を加味することとし、県農作物病害虫等防除指針への掲載農薬において、次のような表記を行う。但し、いずれの薬剤も水産動植物への影響を考慮し、注意して使用する。

本文表記	新評価法に基づく注意事項の表現(例)
×	<ul style="list-style-type: none"> 水産動植物に強い影響を及ぼす恐れがある。 水産動植物に影響を及ぼす。 養殖池周辺での使用は避けること。
△	<ul style="list-style-type: none"> 水産動植物に影響を及ぼす恐れがある。 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。 散布後は水管理に注意すること。 養魚田では使用しないこと。
○	<ul style="list-style-type: none"> この登録に係る使用方法では該当がない。

上記の表に加え、平成27年県農作物病害虫防除指針掲載農薬のうち、魚毒性分類「C類」に該当していた農薬に「*」を付す。

水産動植物:魚類(ドジョウ、ボラ、マス、冷水魚)、甲殻類、藻類等

農薬取締法第12条の2第1項に係る水質汚濁性農薬は、県農作物病害虫等防除指針への掲載はない。

本文中の該当欄は「水産(注)」と表記。

<参考サイト>

独立行政法人農林水産消費安全技術センター(FAMIC)

登録農薬有効成分の毒性・水産動植物に対する影響

<http://www.acis.famic.go.jp/toroku/dokuseieikyoku04.pdf>

水産動植物への影響に係る使用上の注意事項(製剤別一覧)

<http://www.acis.famic.go.jp/toroku/suisaneikyoku04.pdf>

*上記参考サイトアドレスの数字部分(04)については閲覧する月の数字を入力。


使い易さがぐ〜んとアップ!

各種広葉雑草、多年生カヤツリグサ科雑草を
しっかり防除!しかも芝にすぐれた選択性を示す
インプールが、ドライフロアブルになりました
使いやすさで選んでも、コース雑草管理は
インプールです。



芝生用除草剤
インプール[®]DF

ライグラスへの使用はさけてください。

 **日産化学株式会社**

〒103-6119 東京都中央区日本橋二丁目5番1号
TEL:03-4463-8290 FAX:03-4463-8291
<https://www.nissan-agro.net/>

“環境にやさしい” 多木肥料

**有機化成肥料・顆粒肥料
コーティング肥料・ブリケット肥料
有機液肥**



多木化学株式会社
兵庫県加古川市別府町緑町2番地 ☎079-436-0313

大豆から生まれた

安心して使える高級有機資材

プロミネコ

有機化成・有機液肥・配合肥料
有機質肥料専門メーカー

日本肥料株式会社

〈コーティング肥料〉 〈緩効性肥料〉



サンアグロ

SUN AGRO CO., LTD ●●●

〈有機化成肥料〉 〈一般化成肥料〉

果樹の主要害虫に!!

ロディー、ダントツは住友化学(株)の登録商標



適用作物

乳剤 もも 水和剤 りんご、かんきつ、なし、もも くん煙顆粒 かんきつ
かんきつ ぶどう、びわ、かき、うめ、おうとう びわ(有核)、ぶどう

適用作物

かんきつ、りんご、もも、ぶどう、なし、うめ、かき、おうとう、マンゴー、パパイア
いちじく、ネクタリン、あんず、ずもも、ブルーベリー、オリーブ

ひと味違うピレスロイド殺虫剤

ロディー®

乳剤・水和剤・くん煙顆粒

農林水産省登録 第17113号(乳剤)・17116号(水和剤)・17120号(くん煙顆粒)

ネオニコチノイド系殺虫剤

ダントツ®

水溶剤

農林水産省登録 第20798号

会員登録中 農業支援サイト「農力」<http://www.i-nouryoku.com> お客様相談室 ☎0570-058-669

SCAGROUP

住友化学
住友化学株式会社

※使用時にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●子供の手の届かないところに保管してください。●空箱は農薬等に誤用せず適切に処理してください。

Bringing plant potential to life

植物のちからを暮らしのなかに

アクタラ®
顆粒水溶剤

アフアーム®
乳剤

アミスター®20
フロアブル

アグリメック®

タッチダウンiQ®

プリグロックスL

syngenta.

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階
[ホームページ] <http://www.syngenta.co.jp>

F

- アミノ酸有機入り **ビッグハーヴェイ**・オールマイティ
- 植物活性剤(海藻エキス&光合成細菌菌体&有機酸キレート鉄) **M.P.B**
製法特許 第2139622号
- 高機能・省力一発肥料 **マイティコート**

福栄肥料株式会社
 本社：尼崎市昭和南通り3-26 東京支店・北日本支店
 TEL06-6412-5251(代) 工場：石巻・高砂

オーガナイト入り一発ペレット・レオポンS786

三 三興株式会社

兵庫県赤穂郡上郡町竹万905
 TEL 0791-52-0037 FAX0791-52-1816

自然と人との新しいコミュニケーション

決め手は浸透力！ **アルバリン**® 顆粒水溶剤・粒剤

ハダニの卵から成虫まで優れた効果 **カネマイト**® フロアブル

土壤病害、連作障害回避に！ **バスアミド**® 微粒剤

アグロ カネショウ株式会社 西日本支店 高松営業所
 〒760-0023 高松市寿町 1-3-2 Tel (087) 821-3662 Fax (087) 851-2178



☆柑橘の総合防除剤☆
 発芽前・新梢伸長期・落弁期・梅雨時期に！
汚れには意味がある!!
 (一目でわかる残効)

ICボルドー 66D

井上石灰工業株式会社 TEL:088-855-9965 www.inoue-calcium.co.jp

●ICボルドー66D登録内容

登録病害虫	希釈倍数
かいよう病	25~200倍
黒点病	80倍
そうか病	
ナメクジ類	25~100倍
カタツムリ類	
幹腐病(ゆず)	2倍・50倍



殺虫剤

アドマイヤー®フロアブル
キラップ®フロアブル
キラップ®J水和剤
モベント®フロアブル

殺ダニ剤

ダニゲッター®フロアブル

殺菌剤

アリエッティ®水和剤
オンリーワン®フロアブル
ナティーボ®フロアブル
ロブラール®水和剤

水稲箱処理剤

ルーチン®アドスピノ™箱粒剤
ルーチン®エキスパート箱粒剤
エバーゴル®ワイド箱粒剤

除草剤

カウンシル®コンプリート 粒剤・フロアブル・ジャンボ
カウンシル®エナジー 粒剤・フロアブル・ジャンボ
リベレーター®G・フロアブル
アクチノール®乳剤

®はバイエルグループの登録商標

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内 1-6-5 〒100-8262
<https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078
(9:00~12:00,13:00~17:00 土・日・祝日を除く)

新規非選択性茎葉処理除草剤

天下
無草の
除草剤。



ザクザク

液剤

meiji



Meiji Seika ファルマ株式会社

農薬を使わずに、害虫を誘引防除！

LEDの光りで害虫を誘引、強力吸引ファンで
専用捕虫袋に集めます。



みのる産業株式会社

<http://www.minoru-sangyo.co.jp/>
岡山県赤磐市下市 447

CLF-500

吸引式 LED 捕虫器
スマートキャッチャー



果樹・茶用殺虫剤

イクシレル[®]

SE

powered by
CYAZYPYR[®]

麦除草の決め手

ハーモニー[®] 75DF

水和剤

野菜散布用殺虫剤

ベネビア[®]

OD

powered by
CYAZYPYR[®]

スプレーアジュバント（特殊展着剤）

アプローチ[®] BI

ビーアイ



MARUWA BIOCHEMICAL Co., Ltd.

丸和バイオケミカル株式会社

大阪営業所 〒541-0046

大阪市中央区平野町3-6-1

あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル

TEL : 06(6484)6850 FAX : 06(6205)6050

コルテバ製品ラインナップ

かんきつのカイガラムシ類
防除に新提案!

トランスフォーム™フロアブル

Isoclast™ active

園芸用殺虫剤

かんきつの黒点病防除に、
効き目が自慢の!

ジマンダイセン™水和剤

園芸用殺菌剤

かんきつの
スリップス防除なら!

スピノエース™フロアブル

園芸用殺虫剤

いもち病、紋枯病、稲害虫まで
同時に箱施用で!
フタオビコヤガも防除!

フルサポート®箱粒剤

水稻育苗箱専用殺虫殺菌剤

フルサポート®はクミアイ化学工業株式会社の登録商標です。



ダウ・アグロサイエンス日本株式会社 〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー

™が付記された表示は、デュボン、ダウ・アグロサイエンスもしくはバイオニアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標です。

かんきつの病害虫防除を徹底し、
愛媛ブランドを守ろう!

品質の向上に /

日曹の農業

●開花期の主要病害を同時防除!

日曹 **ファンタジスタ®**

顆粒水和剤



●害虫防除の新戦略!

日曹 **モスピラン®**

顆粒水溶剤・SL液剤



●貯蔵病害に優れた効果を発揮!

日曹 **ベフラン®**

液剤25



●害虫発見、いざ出陣!

日曹 **コテツ®**フロアブル



日本曹達株式会社

大阪支店 大阪市中央区高麗橋三丁目4番10号 淀屋橋センタービル
TEL. (06) 6229-7343 FAX. (06) 6229-9574

殺虫剤

コルト®

顆粒水和剤

®は日本農薬協会の登録商標です

害虫を蹴散らす
新成分!



アブラムシ
カイガラムシ
チャノキイロアザミウマ
などの害虫防除に!!



日本農薬株式会社

2011/1

しぶといハダニはサラバでござる!!



新規 殺ダニ剤

ダニサラバ®

フロアブル

アザミウマ・アブラムシ・リン翅目類

オリオン® 水和剤 40

などの
同時防除に!

OAT アグリオ株式会社

大阪支店 : 大阪府中央区久太郎町 3-1-29 tel 06 (6125) 5355 fax 06 (6245) 7110
四国出張所 : 鳴門市大麻町姫田字下久保 12-1 tel 088 (684) 4451 fax 088 (684) 4452

粉状品は、
有機JAS適合

天然水溶性苦土肥料

新発売！

締まった土をやわらかく！

キーゼライト

はっけ良い

微生物入り園芸培土

住商アグリビジネス株式会社

土が
生きている

土太郎

本州事業本部 電話075-342-2430
京都営業所

カルシウム補給の土壌改良材

ちゅら島コーラル

最省力化のピート

コアラピートブロック

発売元

シーアイマテックス株式会社

大阪市西区新町1-14-24
電話 06-6539-6815

農薬を使用するときには

1. 使用前にラベルや説明書をよく読んでください。
2. マスク・手袋など防護具を着用してください。
3. 散布地域の外に飛散・流出しないよう使用してください。
4. 空容器は正しく処分してください。
5. 食品と区別し、小児の手の届かない所に保管してください。

豊かな緑の保全に貢献する

公益社団法人 緑の安全推進協会

(略称 緑の安全協)

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-3-4 全農業ビル5F

TEL03-5209-2511 FAX03-5209-2513

情 報 の 四 季

2020年4月（春期号）

発行日 令和2年4月1日
発行者 村上産業株式会社
発行所 〒790-8526 愛媛県松山市本町1丁目2番地1
電話 松山(089)947-3111



村上産業株式会社

〒790-8526 松山市本町1丁目2番地1 TEL (089)947-3111(代) FAX (089)933-6481
支店／今治・川之江・宇和島・高知・東京・名古屋・上海・THAI